

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

①: 「171」にダイヤルする

1 7 1

②: 伝言の登録

- 1 を押すと音声を録音できます。
- 3 で暗証番号を設定して録音できます。

自分の電話番号を「市外局番から」入力します。

X X X X - X X - X X X X

- ③: 音声を録音します
音声を録音できる時間は30秒間です。

②: 伝言の再生

- 2 を押すと録音された音声を再生できます。
- 4 で暗証番号が設定された音声を再生できます。

相手の電話番号を「市外局番から」入力します。

X X X X - X X - X X X X

- ③: 音声を再生します

災害用伝言ダイヤルの体験利用

- ・毎月1日及び15日
- ・正月3が日
- ・防災週間(8月30日9時~9月5日17時)
- ・防災とボランティア週間(1月15日9時~1月21日17時)

※体験利用の場合であっても、通話料は発生します。
※災害用伝言板の体験利用日は上記と同じですが、運用時間は異なります。

災害発生時(震度6弱以上の地震など)には、NTTの災害用伝言ダイヤルが稼働します。事前契約は不要で、家族や友人などが被災した場合の安否の確認や連絡などに活用できます。

災害用伝言板など

災害発生時(震度6弱以上の地震など)には、各携帯電話事業者が運用する「災害用伝言板」や「災害用音声お届けサービス」等を使って安否情報を登録・確認することができます。それぞれの携帯電話会社のページから確認してください。



※被災地の方のメッセージを検索する際は、全ての携帯電話会社で「全社一括検索」に対応しているため、相手方の携帯電話会社を気にする必要はありません。

◆わが家は大丈夫! 黄色いハンカチ作戦

市では、災害時の安否確認を迅速に行うために「わが家は大丈夫! 黄色いハンカチ作戦®」を推進しています。

この作戦は、災害時に「わが家は大丈夫!」だから「他の人を助けてほしい」という目印として、道路から見える場所に黄色いハンカチを掲げ、安否確認を短時間で容易に行うものです。市内で「震度5強」以上の地震が発生した際に掲げます。

地震災害では、「自助」「共助」で助かる人の割合が9割ともいわれているため、この作戦が非常に有効です。

是非、各自主防災会において、定期的な訓練をお願いします。

なお、黄色いハンカチは、市役所危機管理局にて、1枚500円(R8年3月末現在)で販売しています。



問合せ先 危機管理局 ☎0544-22-1319

問合せ先

富士宮市役所危機管理局: 〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
TEL: 0544-22-1319 FAX: 0544-22-1239

富士宮市総合防災マップ

編集 / 発行: 富士宮市危機管理局

地図調製・印刷: (株)中央ジオマックス

FUJINOMIYA CITY

disaster prevention map



富士宮市

目次

自然災害

地震災害	1~4
火山災害(富士山)	5~12
大雨による災害	13~14
内水氾濫・外水氾濫(洪水)	15
土砂災害	16

防災対策

災害時の自主防災活動	17~18
災害時の医療救護活動	19
情報収集	20
家庭内の安全対策	21~22
非常持出品	23~24
災害廃棄物	25~26
指定避難所一覧	27~28
指定緊急避難場所一覧	29~30

防災マップ

洪水ハザードマップ 索引図・凡例	31~32
洪水ハザードマップ	33~56
防災マップ(洪水ハザードマップを除く) 索引図・凡例	57~58
防災マップ(洪水ハザードマップを除く)	59~86

富士宮市総合防災マップ

保存版 令和8年3月改定

◆防災マップとは

市民の皆様が、「富士宮市でどのような災害が発生するかを知ること」、「災害時に適切な行動をとり、被害を最小限にとどめること」を目的として作成したものです。

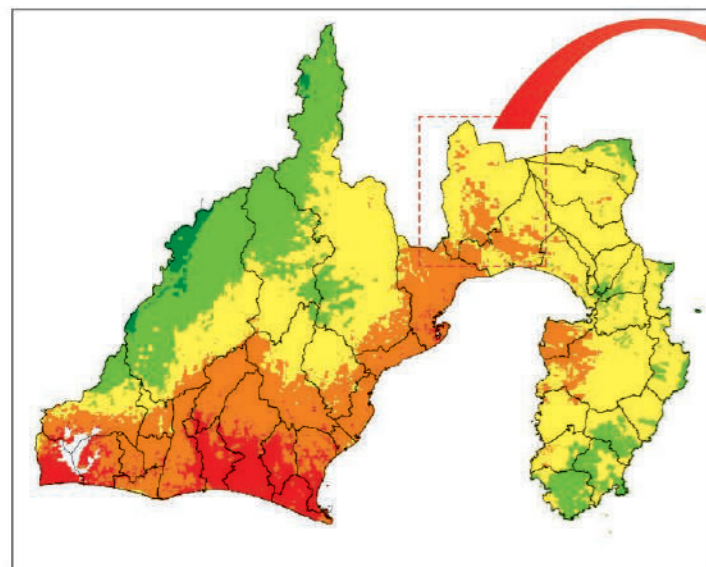


富士宮市
キャラクター
さくらちゃん

地震災害

静岡県第4次地震被害想定

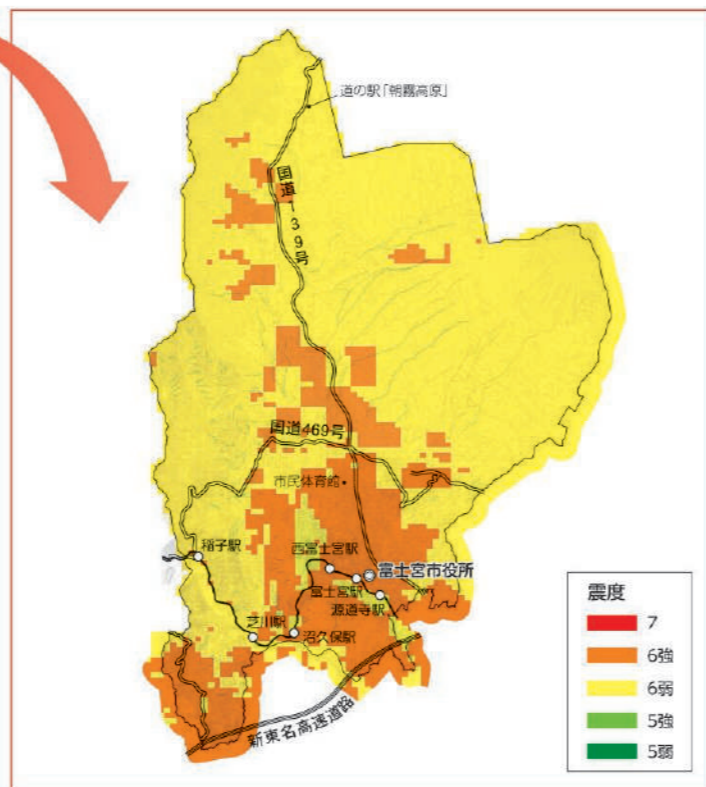
静岡県では、東日本大震災の教訓を生かし、大規模地震対策の基礎資料として活用するため、平成25年度に静岡県第4次地震被害想定を公表しました。富士宮市における最大クラスの地震が発生した場合の主な被害状況は以下のとおりです。
※令和8年度中に静岡県第5次地震被害想定が発表される見込みです。発表され次第、データ版で更新していきます。



※ 当市の面積は、389.08km²であり、表中の震度区分面積の合計の384.5km²と異なります。これは、震度区分面積算出時の市場部分の誤差によるものです。

富士宮市における震度分布と震度区分面積

南海トラフ巨大地震 (最大クラスの地震)	震度6弱	震度6強
	290.0km ² (約75.4%)	94.5km ² (約24.6%)



震度階級と想定される被害	
7	耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。
6強	はわなと動くことができない。飛ばされることもある。耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多い。地割れが生じたり、大規模な地すべりが発生することがある。
6弱	立っていることが困難になる。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたり、倒れるものもある。
5強	物につかまらなと歩くことが難しい。固定していない家具が倒れることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
4	ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が、倒れることがある。
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
0	人は揺れを感じない。

人的被害(死者数)				
建物倒壊	津波	山・崖崩れ	火災	ブロック塀の転倒 屋外落下物
約40人	-	約10人	-	-

建物被害(全壊・焼失棟数)				
揺れ	液状化	津波	山・崖崩れ	火災
約2,900棟	約10棟	-	約70棟	約1,000棟

生活支障被害			最大避難者数(1週間後)
避難者数	避難所	避難所外	
24,512人	12,256人	12,256人	

※避難所収容可能人数は、29,500人

ライフライン被害(機能支障率)				
	直後	1日後	7日後	1ヶ月後
上水道	89%	91%	38%	0%
下水道	8%	79%	4%	0%
電力	89%	78%	2%	1%
固定電話	89%	78%	3%	0%
都市ガス	100%	100%	85%	8%
LPガス	25%	-	-	-
携帯電話	3%	78%	3%	-

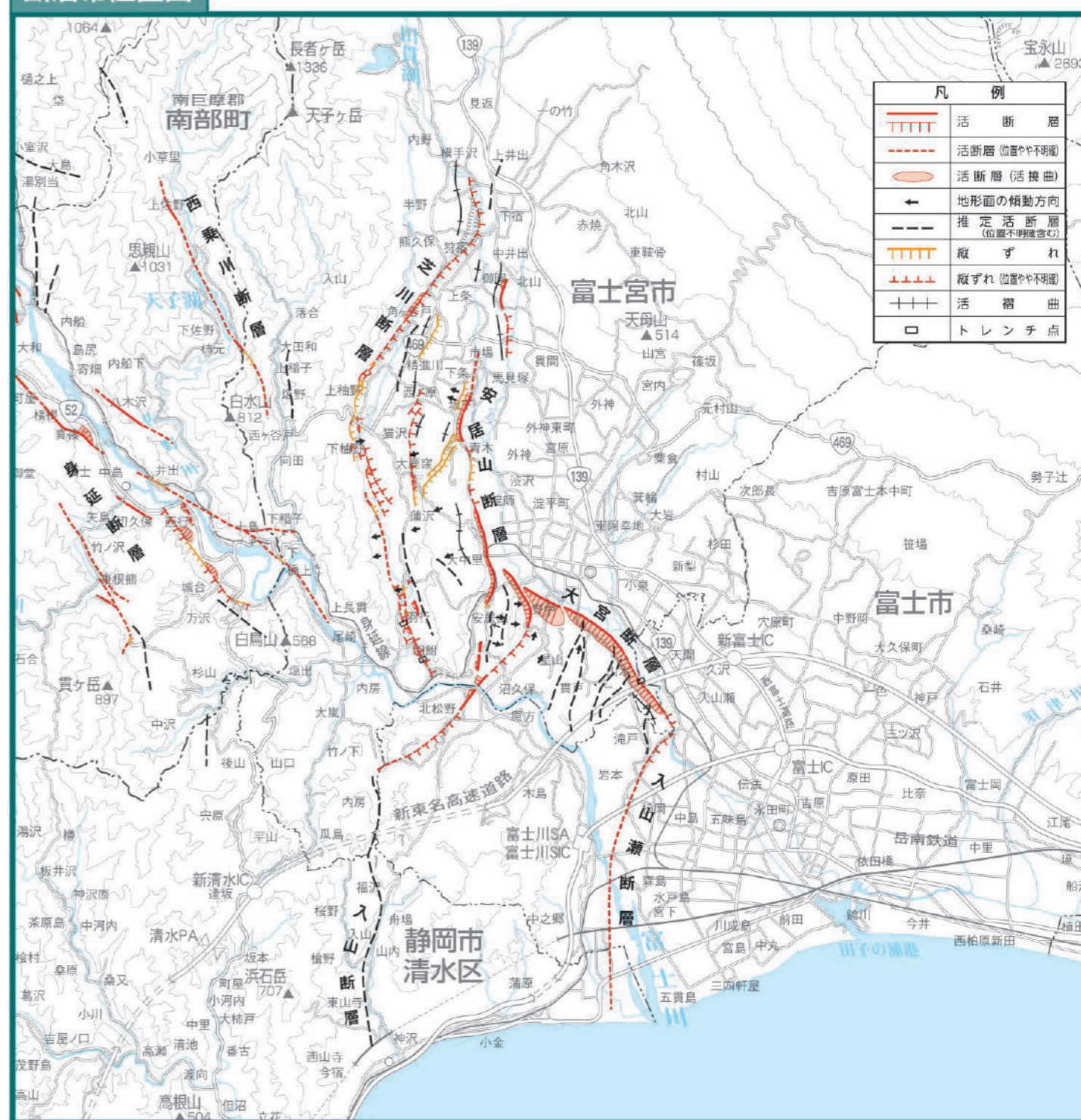
富士宮市と活断層

富士宮市周辺には、将来地震を起こす可能性のある断層(以下、「活断層」と言う。)がいくつも存在しています。中でも富士川河口断層帯(芝川断層・安居山断層・大宮断層・入山瀬断層など)は、市内に存在する様々な断層によって構成される全長約26km以上の活断層帯です。断層の真上でなくても、広範囲で強い揺れが発生する恐れがありますので、日頃からの備えを心掛けましょう。

富士川河口断層帯のずれによる地震の規模

単独で発生した場合	マグニチュード7.2以上
駿河トラフと連動した場合	マグニチュード8.0程度
今後30年以内の地震の発生確率	2%~18%

断層帯位置図



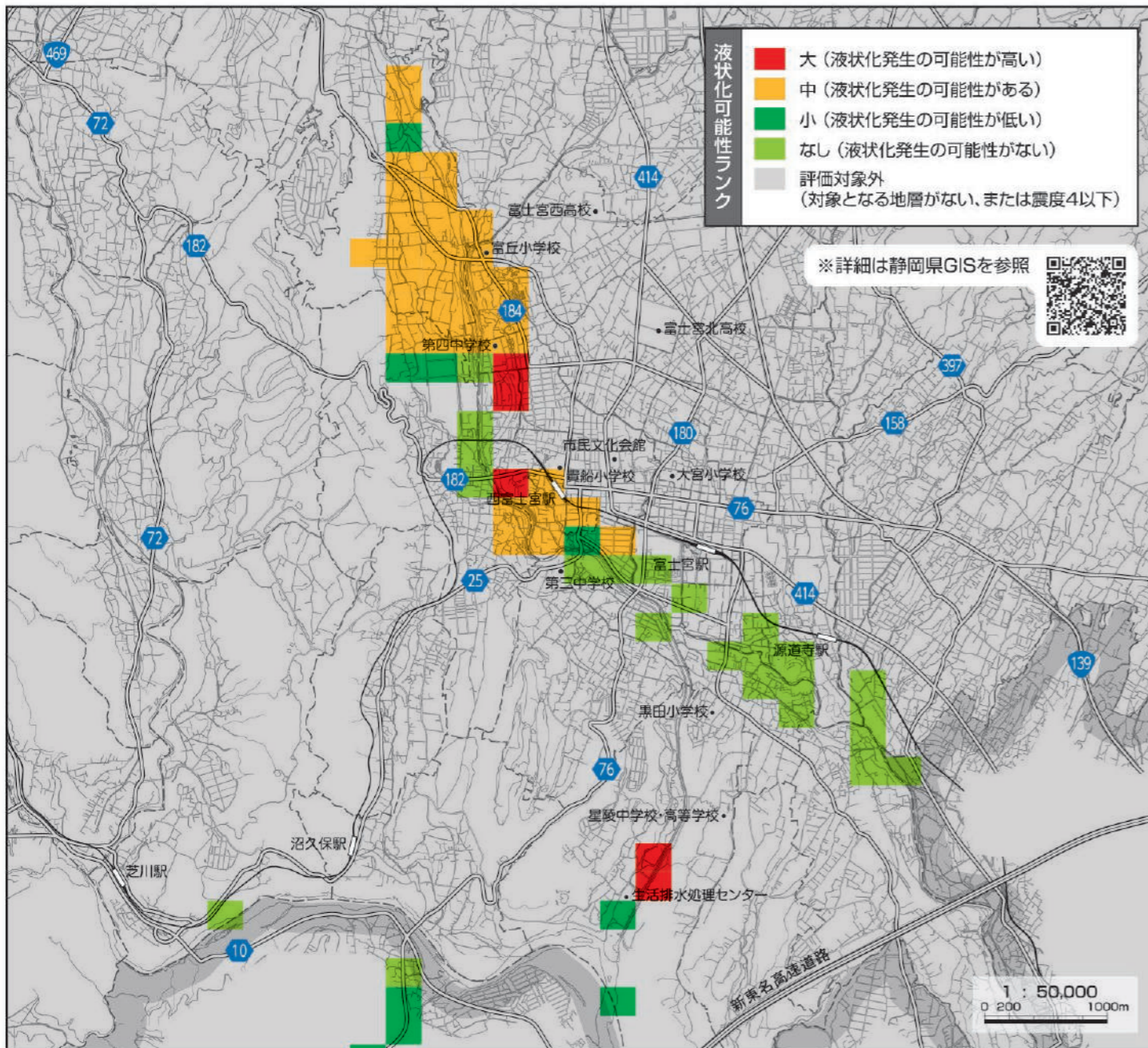
中田 高・東郷正美・池田安隆・今泉俊文・宇根 寛(2000) 1:25,000都市圏活断層図【富士宮】、国土地理院
田力正好・中田 高・松多信尚・渡辺満久(2025) 1:25,000 活断層図【身延】、国土地理院
金田平太郎・田力正好・千田 昇・中田 高・渡辺満久(2025) 1:25,000 活断層図【南部】、国土地理院 以上を加工して作成

◆液状化現象

液状化は、水分を多く含む砂質の地盤で発生する現象です。いくら建物に耐震対策をしていても肝心の建物を支える地盤が液状化を起こしてしまえば、建物を支えられなかったり、マンホール等が押し上げられライフラインに支障を起こしてしまいます。今後起こり得るかもしれない地震に備えて、お住まいの地域の地盤がこういった状態なのか知っておくことも大切です。



液状化可能性マップ



◆南海トラフ地震に関する情報

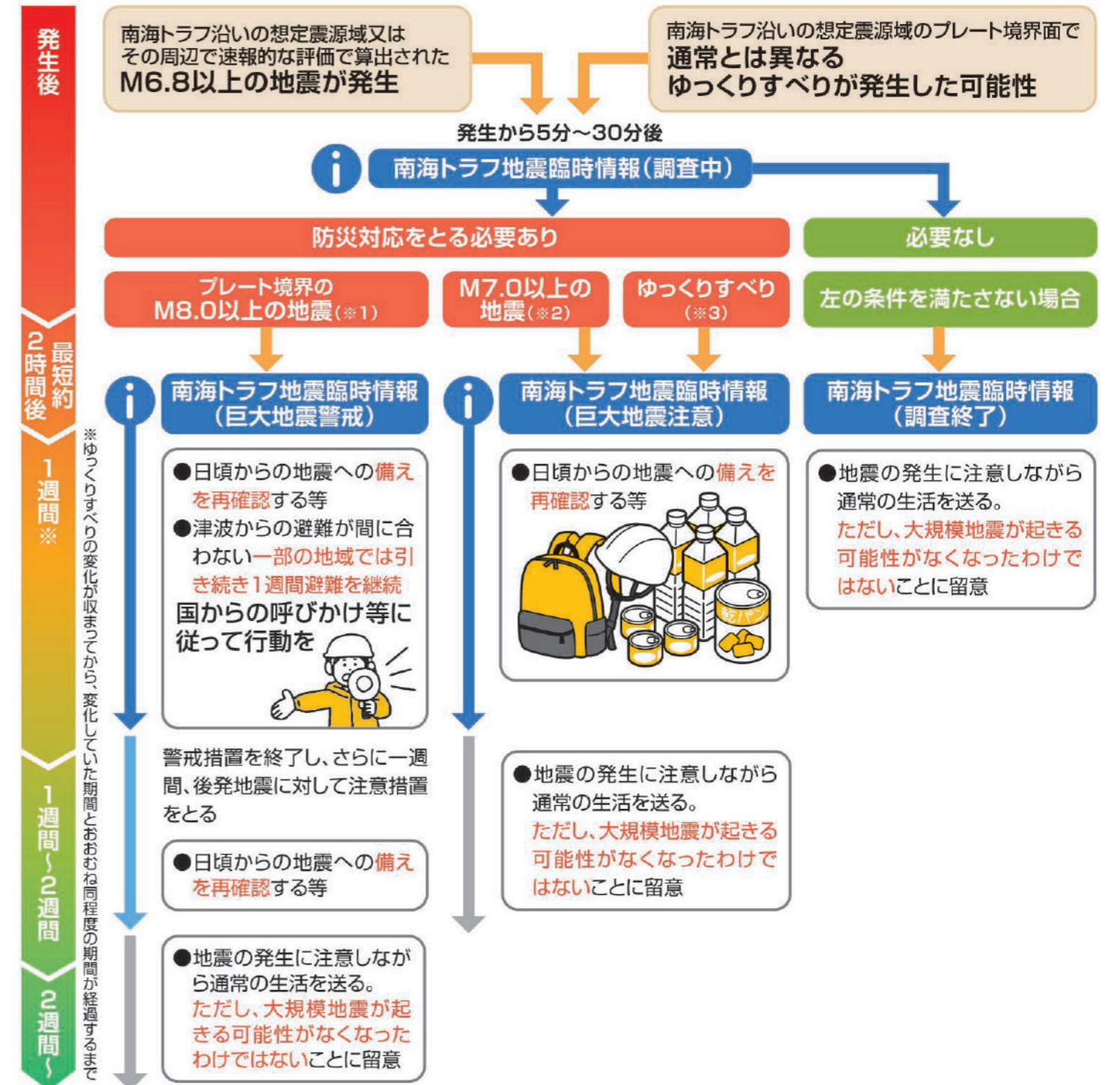
政府の中央防災会議は、平成28年に「現時点において、地震の発生時期や場所・規模を確度高く予測する科学的に確立した手法はない」との見解を発表しました。

その見解をもとに、東海地震の予知を前提とした「東海地震に関連する情報」の発表を取りやめ、平成29年11月1日から「南海トラフ地震に関連する情報」の運用を開始しました。

「南海トラフ地震に関連する情報」は、東海地震の予想震源域を含む南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、この情報の種類と発表条件は以下のとおりです。

◆時間差で発生する巨大地震に備えましょう ～南海トラフ地震臨時情報～

南海トラフ地震発生に備えた防災対応の流れ



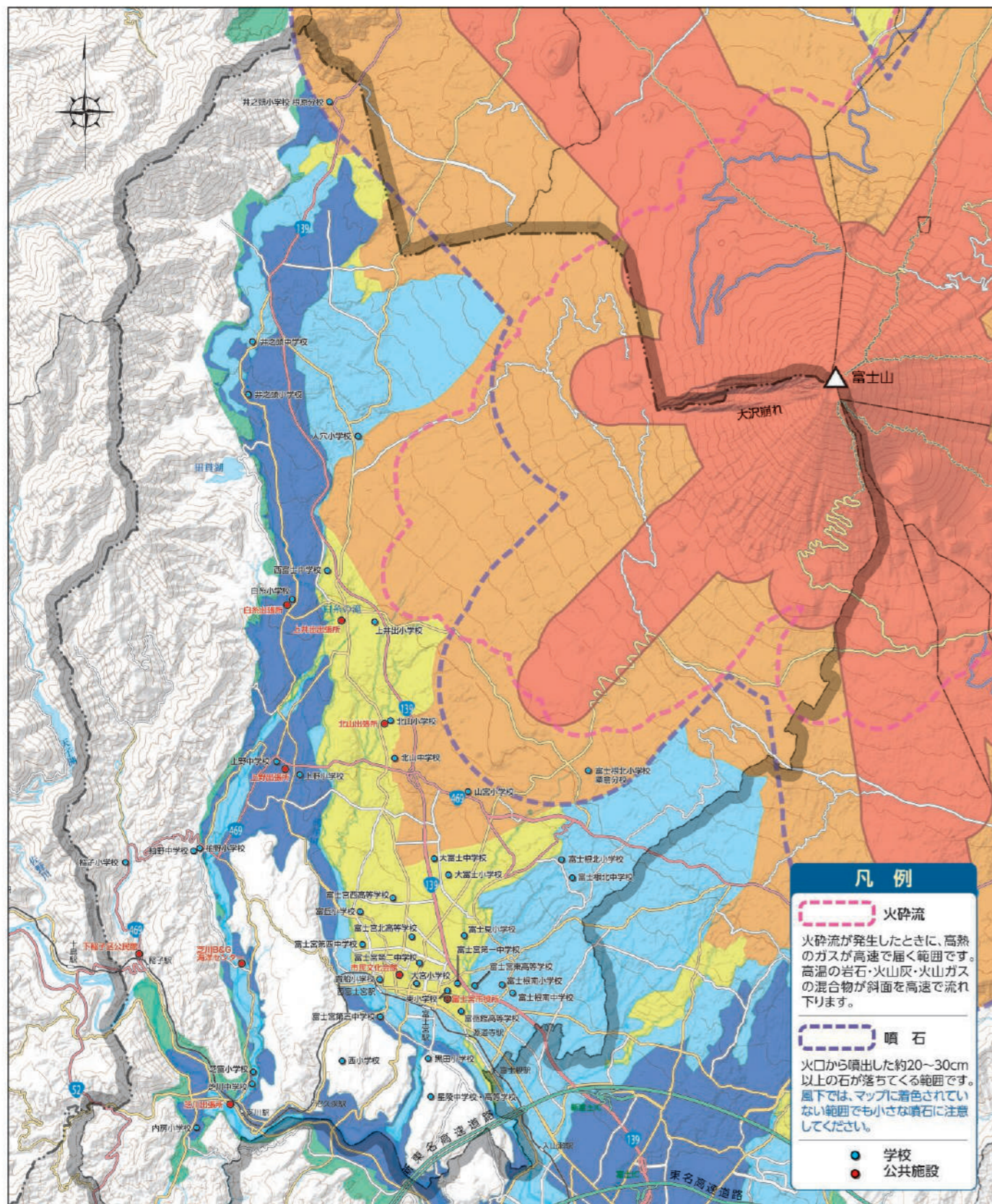
※1 想定震源域のプレート境界でM8.0以上の地震が発生
 ※2 想定震源域、またはその周辺でM7.0以上の地震が発生(ただし、プレート境界のM8.0以上の地震を除く)
 ※3 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など

火山災害(富士山)

◆富士山火山について

富士山は、1707年(宝永4年)に噴火した後、300年以上噴火活動が見られません。しかし、地下深くでは、今もマグマが活動を続けている活火山です。噴火した場合に想定される影響範囲と、避難すべき段階をあらかじめ御確認ください。

◆富士山ハザードマップ(富士宮市富士山火山避難行動マップ)



◆避難対象エリア

避難対象エリアとは、溶岩流等の流化物が到達する範囲を時間軸で示したものです。時間とともに避難が必要な地域の拡大が想定されるため、想定される火口の位置からの距離に応じ6つのエリアに分割しています。

避難対象エリア	地区名	対象者
第1次 避難対象エリア 想定火口範囲	山宮1区2町内	地区の全ての人
第2次 避難対象エリア 火砕流、噴石、溶岩流(1時間以内)到達範囲及び溶岩流の流下により孤立する可能性がある範囲	万野2区3・4町内、万野3区6町内、万野4区4町内、宮原1区、外神東区、宮原区2・4・6・9町内、外神区1・2町内、粟倉3区、北山3区、北山4区、山宮1区1・3町内、山宮2区、山宮3区、山宮4区、上井出区、人穴区1・2・4・5町内、根原区、富士丘区	地区の全ての人
第3次 避難対象エリア 溶岩流(1時間～3時間以内)到達範囲	日の出区、瑞穂区、大和区、咲花区、阿幸地区、舞々木区、富士見ヶ丘区、山本区、源道寺区、常磐区、浅間区、神田区、木の花区、城山区、高嶺区、宮本区、琴平区、三園平区、二の宮区、ひばりが丘区、万野1区、万野2区1・2町内、万野3区1・2・3・4・5・7町内、万野4区2・3町内、万野希望区、神立区、松山区、羽衣区、貴船区、神賀区、福地区、宮原区1・3・7・8町内、淀師区、淀橋区、大中里区、青木区、外神区3・4・5・6・7・8町内、小泉1区、小泉5区、小泉6区、上小泉区、大岩2区、大岩3区、粟倉1区、粟倉2区、舟久保区、粟倉南区、上条上区、上条下区、精進川上区、馬見塚区、北山1区、北山2区、芝山区、狩宿区	避難行動要支援者※ 一般住民
第4次 避難対象エリア 溶岩流(3時間～24時間)到達範囲	神田川区、田中区、黒田区、野中1区、野中2区、野中3区、星山1区、高原区、高原1区、小泉2区、小泉3区、小泉4区、大岩1区、杉田1区、杉田2区、杉田3区、杉田4区、杉田5区、杉田6区、村山1区、村山2区、村山3区、粟倉4区、精進川下区、猪之頭区、人穴区3町内、麓区、西山区、大久保区、長貫区、上羽鮒区、下羽鮒区、大鹿窪区、猫沢区、上柚野区、下柚野区、鳥並区、内房第3区、内房第4区	避難指示を受けた地区の人
第5次 避難対象エリア 溶岩流(24時間～7日間)到達範囲	貫戸区、沼久保区、下条上区、下条下区、内野区、原区、半野区、内房第2区	避難指示を受けた地区の人
第6次 避難対象エリア 溶岩流(7日間～57日間)到達範囲	上記のお住いの地区の避難行動をとってください。	
避難対象エリア外	第1～6次避難対象エリア以外の地区	

※避難行動要支援者：歩くことが困難な高齢者や障がい者など避難に支援が必要な人(P18参照)

◆富士山の火山活動に関する情報(噴火警戒レベル)

噴火警戒レベルとは、気象庁が発表する気象警報で、火山活動の状況に応じて5段階に区分され、とるべき防災行動を示しています。※富士山では、火口の位置を特定することが困難なため、レベルが上昇する際の噴火警戒レベル2は運用しないことになっています。

名称	噴火警戒レベル(キーワード)	対象範囲	説明	
			火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応
又は噴火警報(居住地域)	5 避難	居住地域及びそれより火口側	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要(状況に応じて対象地域を判断)
	4 高齢者等避難	居住地域及びそれより火口側	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難が必要一部の地域では住民の避難が必要
又は噴火警報(火口周辺)	3 入山規制	火口から居住地域近くまで	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される	登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等一部の地域では住民の避難が必要観光客等は帰宅
	2 火口周辺規制	火口周辺	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される	住民は通常の生活 火口周辺への立入規制等
噴火予報	1	活火山であることに留意	火山活動に高まりがみられる 今後の活動の推移によってはレベルを引き上げる可能性がある	住民は希望により自主避難 状況に応じて登山者は下山
			火山活動は静穏	住民は通常の生活



◆避難対象となる地区と避難先

避難対象地区は、火口形成、溶岩流、噴石、火砕流等の影響範囲が想定される範囲をもとに区分しています。火山活動の状況によって、避難対象エリアに高齢者等避難や避難指示を発令します。

また、噴火前に避難を希望する場合(噴火警戒レベルが上昇する前)には、親族、知人宅、遠方の宿泊施設等へ自主的に避難をすることも推奨しています。

◆避難先と避難時の行動

避難対象エリア	避難対象地区	避難場所	避難時の行動
第1次 避難対象エリア	山宮1区2町内	富士根北小学校	噴火警戒レベル3  ・開設した避難場所に溶岩流が到達する可能性が生じた場合は、新たな避難場所への移動が必要になる場合があります。
第2次 避難対象エリア	万野2区3・4町内	富士宮第三中学校、西小学校	噴火警戒レベル3 ・噴火に備えて、装備と持出品・備蓄品を確認してください。(P11参照) ・同報無線放送など、市からの避難情報に注意しながら、日常の生活を続けてください。
	万野3区6町内	黒田小学校	
	万野4区4町内	黒田小学校	
	宮原1区	芝富小学校、芝川中学校	
	外神東区	芝川会館	
	宮原区2・4・6・9町内	芝川中学校	
	外神区1・2町内	富士宮第三中学校	
	栗倉3区	富士根北中学校	
	北山3区	上野小学校、上野中学校、上野会館	
	北山4区	上野小学校	
	山宮1区1・3町内	富士根北小学校、富士根北中学校	
	山宮2区	富士根南小学校	
	山宮3区	富士根南中学校	
	山宮4区	富士根南中学校	
	上井出区	白糸小学校、白糸会館、柚野小学校、柚野中学校	
人穴区1・2・4・5町内	井之頭小学校		
根原区	井之頭中学校		
富士丘区	井之頭中学校		
噴火後			・同報無線放送など、市からの避難情報に注意してください。 ・開設した避難場所に溶岩流が到達する可能性が生じた場合は、新たな避難場所への移動が必要になる場合があります。

避難対象エリア	避難対象地区	避難場所	避難時の行動
第3次 避難対象エリア	日の出区	◆一般住民 溶岩流の流れに対して直交方向にある最寄りの避難場所(公園、広場、グラウンド等) 【避難場所の一例】 白尾山公園、山本高原公園、水辺の楽校、明星山グラウンド ◆避難行動要支援者 星陵中学校・高等学校、富士根交流センター、白糸自然公園、芝川公民館、内房小学校、稲子小学校	◆一般住民 噴火警戒レベル3～レベル5 ・噴火に備えて、装備と持出品・備蓄品を確認してください。(P11参照) ・同報無線放送など、市からの避難情報に注意しながら、日常の生活を続けてください。 噴火後  ・火口ができる場所によっては、避難が必要な地区とそうでない地区に分かれます。 ・夜間や悪天候時には、火口や溶岩の流れの方向の確認と避難情報の発信までに時間を要する場合があります。このため、避難指示を待たずにご自身の判断で避難する必要があります。 ・溶岩が流れやすい河川沿いを避け、流れる方向から直交方向(離れる方向)にある避難場所へ原則徒歩で避難してください。 ◆避難行動要支援者  第2次避難対象エリアの「避難時の行動」と同じ行動を取ってください。(P7参照)
	瑞穂区		
	大和区		
	咲花区		
	阿幸地区		
	舞々木区		
	富士見ヶ丘区		
	山本区		
	源道寺区		
	常磐区		
	浅間区		
	神田区		
	木の花区		
	城山区		
	高嶺区		
	宮本区		
	琴平区		
	三園平区		
	二の宮区		
	ひばりが丘区		
	万野1区		
	万野2区1・2町内		
	万野3区1・2・3・4・5・7町内		
	万野4区2・3町内		
	万野希望区		
	神立区		
	松山区		
	羽衣区		
	貴船区		
	神賀区		
福地区			
宮原区1・3・7・8町内			
淀師区			
淀橋区			
大中里区			
青木区			
外神区3・4・5・6・7・8町内			
小泉1区			
小泉5区			
小泉6区			
上小泉区			
大岩2区			
大岩3区			
栗倉1区			
栗倉2区			
舟久保区			
栗倉南区			
上条上区			
上条下区			
精進川上区			
馬見塚区			
北山1区			
北山2区			
芝山区			
狩宿区			

◆噴火警戒レベルによる住民の避難対応

避難対象エリア	住民の避難対応			
	噴火警戒レベル3	噴火警戒レベル4	噴火警戒レベル5	噴火後
第1次 避難対象エリア	避難	⇒	⇒	⇒
第2次 避難対象エリア	避難準備	避難	⇒	⇒
第3次 避難対象エリア	避難準備	⇒	⇒	避難

第3次 避難対象エリアにお住まいの高齢者・避難行動要支援者の方は**噴火警戒レベル4**が発表されたら、避難を開始してください

第4次避難対象エリア及び第5次避難対象エリアの避難先は、市内の他の避難場所若しくは広域避難とし、避難開始時期や避難対象区域は噴火の状況により判断してください。

◆ 降灰の可能性マップ

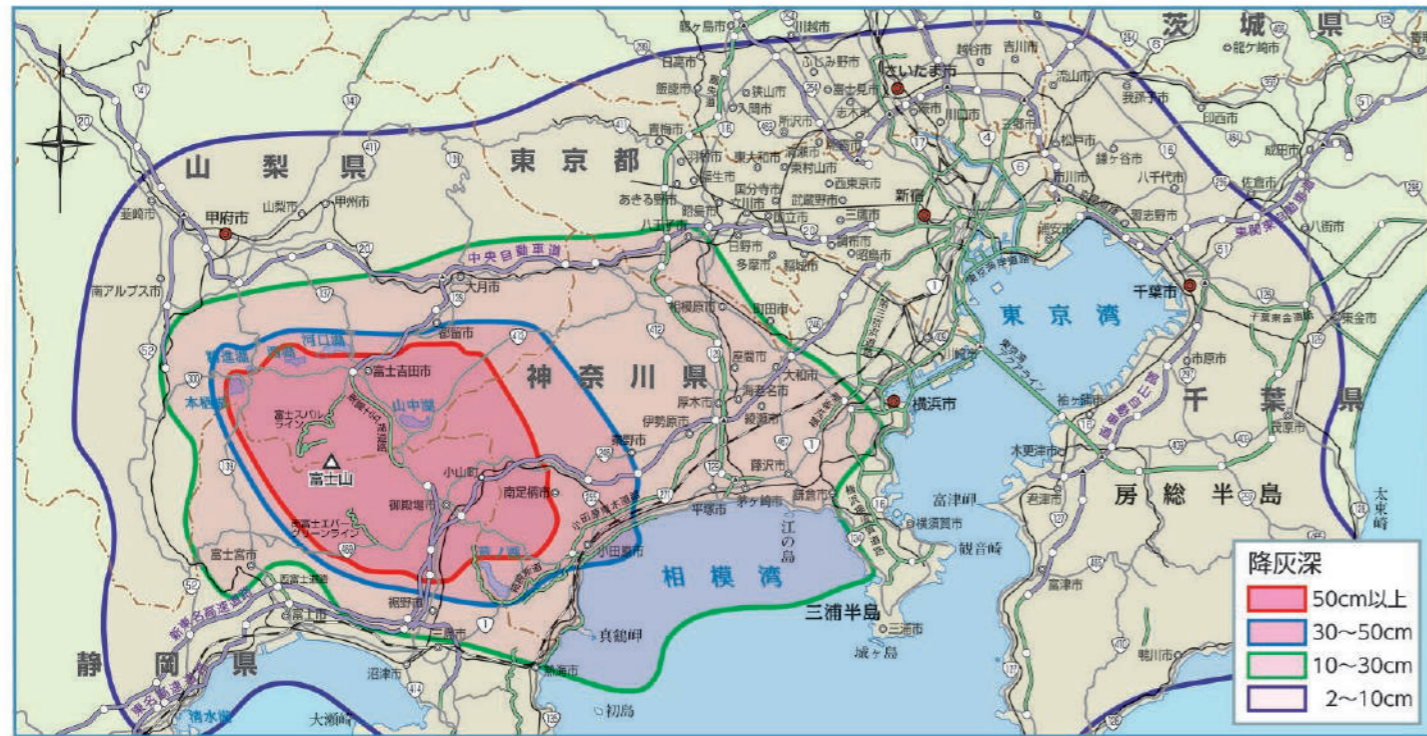
◆ 火山灰や軽石を出す大規模な噴火の場合、広い地域に影響を及ぼします。

季節によって風向が変わるため、火山灰の到達範囲は変わります。

降灰の可能性マップはすべての季節を重ねて描いているため、実際の降灰範囲は異なる場合があります。

◆ 降灰があった時の避難について

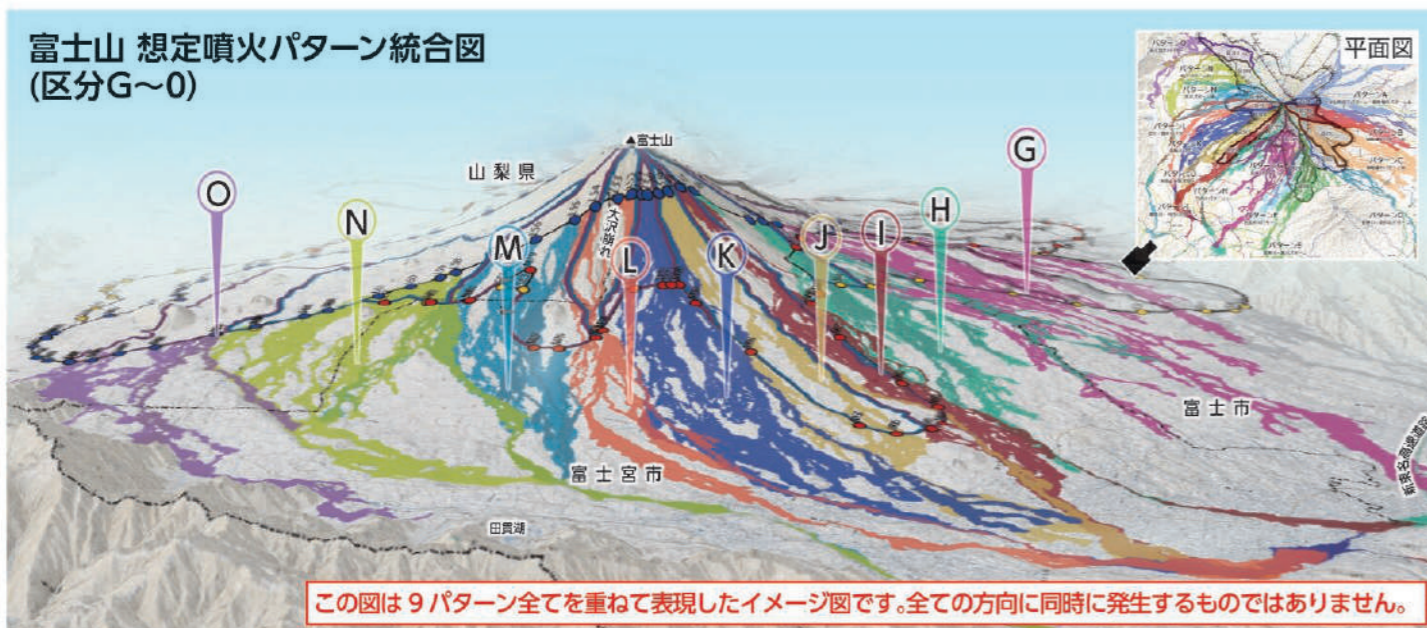
- 火砕流や溶岩流、建物の倒壊等による命の危険がない場合、自宅や堅牢な建物内での屋内避難が原則です。
- 外に出るときはヘルメットやマスク・ゴーグルを着用しましょう。
- 家は窓を閉めて密閉します。木造家屋では屋根に30cm以上の灰が積もると、建物が壊れることがあります。



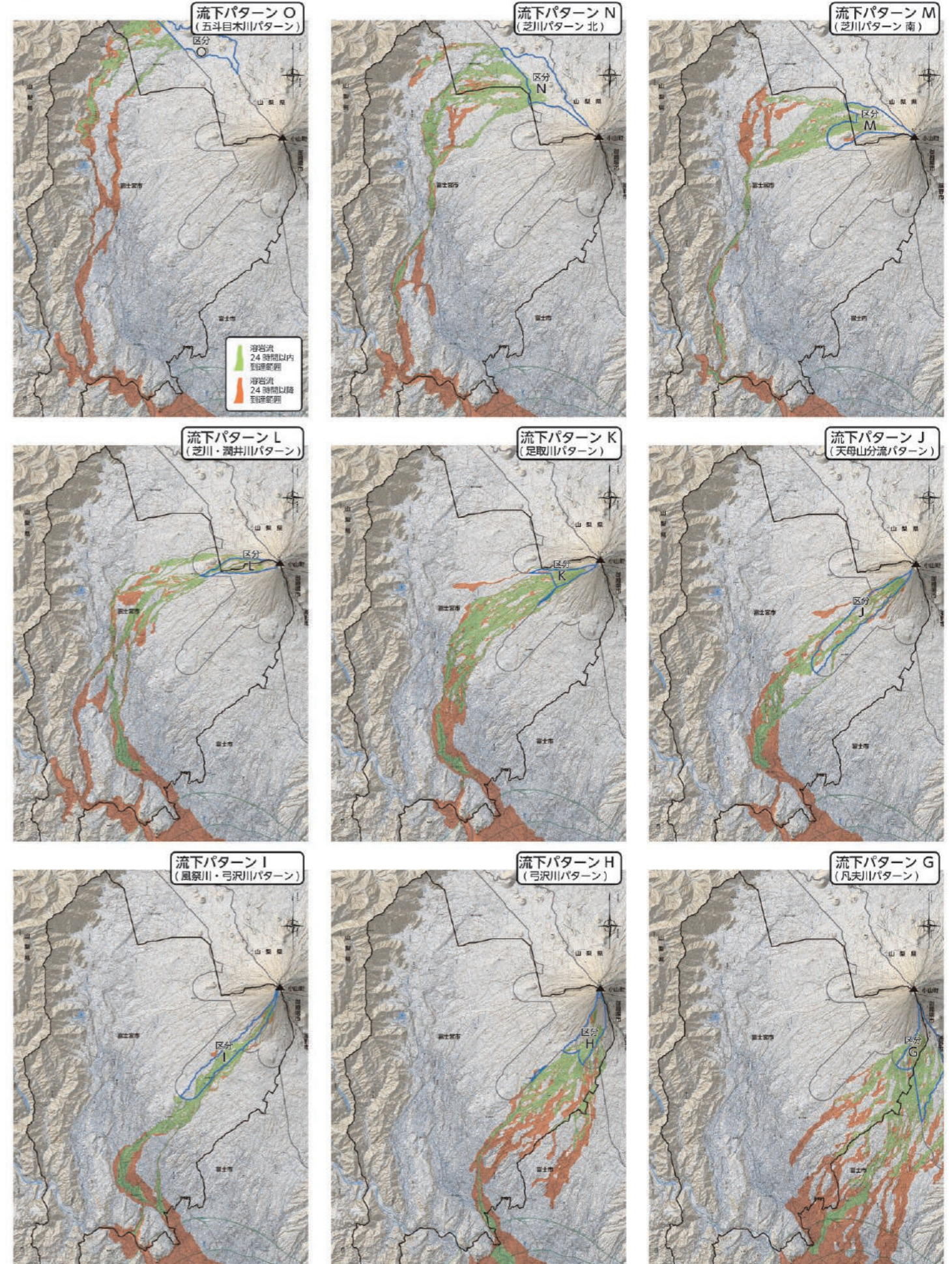
◆ 富士宮市に関わる溶岩流の流下パターン

富士山は、火口ができる予想される範囲が広いので、様々な場所で噴火した場合の溶岩流下シミュレーションを行い、その結果を公表しています。

流下パターンは、このシミュレーション結果を、流下してくる方向(川)ごとにA~Oの15パターンに区分したもので、このうち富士宮市に影響するものは、9パターン(G~O)あります。



◆ 富士宮市の溶岩流 流下パターン図



◆ 避難対象となる地区と避難先 (積雪期のみ)

積雪期に富士山が噴火した場合、融雪型火山泥流が発生する可能性があるため、第3次・第4次避難対象エリアでは、噴火前に避難をする必要がある区域(事前避難対象区域)があります。

◆ 避難先一覧 (積雪期のみ)

第3次 避難対象エリア			
避難対象地区	日の出区1・2町内の一部	宮原区8町内の一部	大岩3区1・2・3・4町内の一部
	瑞穂区1・2町内の一部	淀師区1町内の一部	粟倉1区2町内の一部
	大和区1町内の一部	淀橋区7町内の一部	精進川上区1町内の一部
	阿幸地区1町内の一部	大中里区3・4町内の一部	馬見塚区1・2町内の一部
	富士見ヶ丘区1・3・4町内の一部	青木区1・4・5町内の一部	北山1区2・3町内の一部
	山本区1・2・3町内の一部	外神区6・7町内の一部	北山2区3町内の一部
	源道寺区1・2・3町内の一部	小泉1区1・2町内の一部	芝山区1町内の一部
	万野1区1・3・5町内の一部	小泉5区1町内の一部	狩宿区の一部
	万野2区の一部	小泉6区2町内の一部	舞々木区の一部
	万野3区1・2町内の一部	上小泉区1・4・6町内の一部	
	万野4区2・3町内の一部	大岩2区2・3・4町内の一部	
	避難場所	東小学校、富士宮第二中学校、大宮小学校、市民文化会館、中央図書館、富士宮北高等学校	
第4次 避難対象エリア			
避難対象地区	神田川区1・2町内の一部	大岩1区の一部	下羽鮒区1町内の一部
	田中区1町内の一部	人穴区の一部	大鹿窪区2町内の一部
	野中1区1町内の一部	西山区2町内の一部	上柚野区1町内の一部
	星山1区1町内の一部	長貫区4・5町内の一部	下柚野区1町内の一部
避難場所	黒田小学校、富士宮第三中学校、井之頭小学校、柚野小学校・柚野中学校、芝川公民館		

◆ 噴火警戒レベルによる住民の避難対応 (積雪期のみ)

避難対象エリア	住民の避難対応			
	噴火警戒レベル3	噴火警戒レベル4	噴火警戒レベル5	噴火後
第1次 避難対象エリア	避難	⇒	⇒	⇒
第2次 避難対象エリア	避難準備	避難	⇒	⇒
第3次 避難対象エリア		避難準備	⇒	避難
第4次 避難対象エリア		避難準備	⇒	避難

第1次・第2次避難対象エリアにお住まいの方、及び第3次避難対象エリアにお住いの避難行動要支援者の方は積雪期も通常どおりに避難してください。

第3次・第4次避難対象エリア内の事前避難対象区域にお住まいの方は**噴火警戒レベル4**が発表されたら、避難を開始してください

◆ 防災情報及び避難情報の入手

気象庁が発表した防災情報をもとに、市が同報無線等で避難情報をお知らせします。



富士宮市同報無線放送



Lアラート
テレビのテロップで避難情報をお知らせします。



エリアメール
富士宮市内にいる人に対して、一斉に避難情報のメールを配信します。

◆ 非常持出品・備蓄品

避難時の備えとして、下図のような装備と、地震等と同様の持出品・備蓄品を準備しましょう。

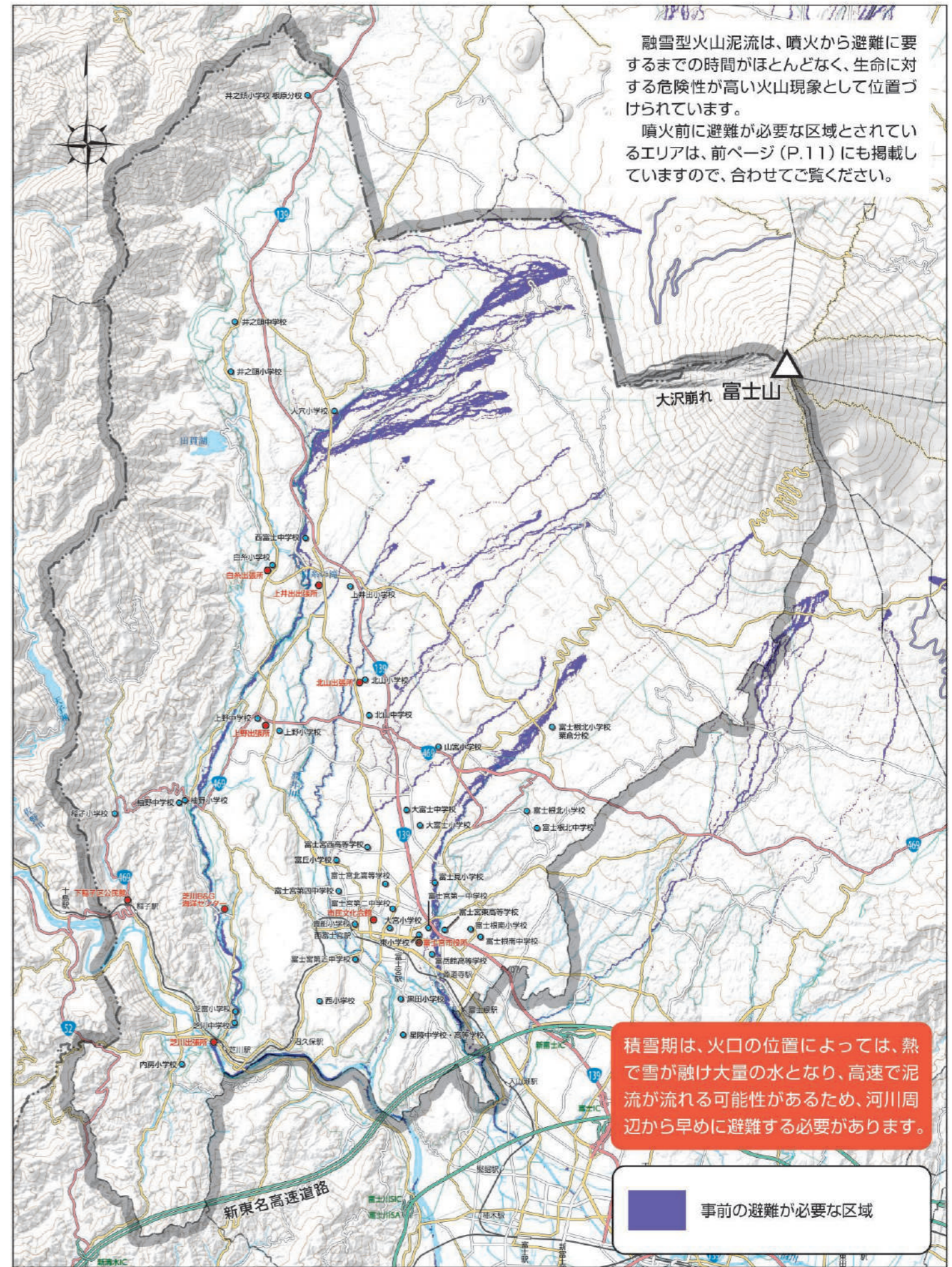
装備

- ヘルメット
- ゴーグル
- マスク
- 長袖の上着
- 手袋
- 長スボン
- 運動靴
- 防寒具

持出品・備蓄品

- 照明器具
- 食料
- 電池
- 衛生用品
- 貴重品
- 防寒具
- 飲料水
- ラジオ
- マルチツールナイフ
- 医薬品・お薬手帳

◆ 融雪型火山泥流の事前避難エリア



積雪期は、火口の位置によっては、熱で雪が融け大量の水となり、高速で泥流が流れる可能性があるため、河川周辺から早めに避難する必要があります。

出典：国土地理院タイル P5～P12のマップは国土地理院タイルデータを加工して使用しております

大雨による災害

◆避難情報発令基準について

令和8年5月下旬(予定)から、下記のとおり防災気象情報が変わります。大雨時などに出される気象情報について、あらかじめ意味を知っておきましょう。

主な変更点

- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます
→避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。
- 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります
→従来の「洪水警報・注意報」は廃止されます。
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます
→危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。
- 線状降水帯の発表などは「気象防災速報」として発表します。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	避難情報	とるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報 氾濫の発生	レベル5 大雨特別警報 台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想され、重大な災害の起こるおそれ著しく大きい	レベル5 土砂災害特別警報 命の危険が及ぶ土砂災害が切迫、すでに発生している可能性	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！！					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報 まもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれる、または氾濫危険水位に到達	レベル4 大雨危険警報 命の危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況	レベル4 土砂災害危険警報 命の危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況	避難指示	危険な場所から 全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報 一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる	レベル3 大雨警報 大雨に関する警報	レベル3 土砂災害警報 土砂災害への警戒が必要な状況	高齢者等避難	避難に時間を要する人は早めに避難、他の人も避難の準備
警戒レベル2相当	レベル2 氾濫注意報 氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる	レベル2 大雨注意報 大雨に関する注意報	レベル2 土砂災害注意報 土砂災害への注意が必要な状況		避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1相当	早期注意情報				災害への心構えを高める

◆キキクルを活用しよう

キキクルとは、大雨による災害発生の危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。

常時10分毎に更新しており、気象警報等が発表されたときに、どこで、どのような危険が高まっているかを把握する事ができます。

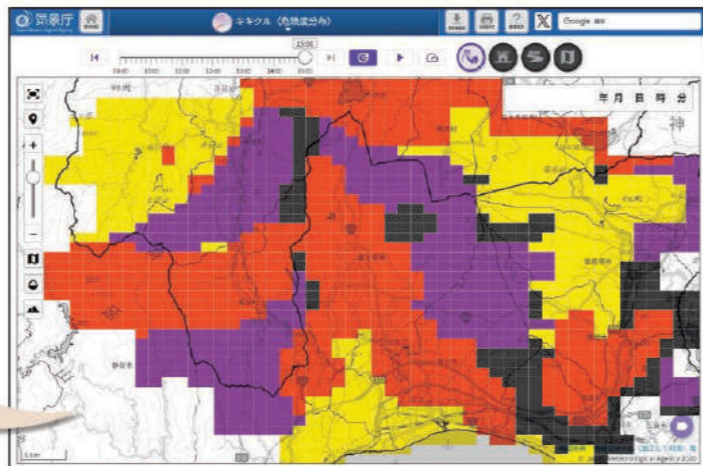


気象庁 キキクル

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

キキクルで示される警戒情報

- : 災害切迫【警戒レベル5相当】
- : 危険【警戒レベル4相当】
- : 警戒【警戒レベル3相当】
- : 注意【警戒レベル2相当】
- : 今後の情報等に留意



※画像の災害状況は、表示例として作成されたものです

◆雨の降り方と強さ

(1時間雨量)	(10~20mm)	(20~30mm)	(30~50mm)	(50~80mm)	(80mm以上)
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	傘をさしていてもぬれる。		傘は全く役に立たなくなる。	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。		道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
車の中		ワイパーを速くしても見づらい。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険。	

◆豪雨災害における避難について

豪雨時の避難は、一律に市指定緊急避難場所に避難すれば良いというものではありません。

災害発生をイメージして、自分が避難すべき場所やタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。

洪水

大雨による気象警報や河川水位の情報、市から発令される避難情報を収集

浸水前の早い段階で浸水区域外に避難することが最も安全

浸水区域 → **浸水区域外**

すぐに避難!

浸水区域外

- ◆ 知人・親戚宅等
- ◆ 指定緊急避難場所(開設されている場合)
- ◆ 近くの堅牢な建物

危険区域外への避難
水平避難

土砂災害

大雨による気象警報や土砂災害の危険度分布、雨の降り方などの情報を収集するとともに土砂災害の予兆現象に注意

雨風が強まる前の早い段階で土砂災害の警戒区域外に避難することが最も安全

土砂災害警戒区域外

- ◆ 親戚・知人宅等
- ◆ 指定緊急避難場所(開設されている場合)
- ◆ 近くの堅牢な建物

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

避難!

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

垂直避難

情報収集により、早めに危険区域から出る事が大原則ですが、浸水が始まったり、雨風が強まったりした中、屋外に出ることは大変危険です

滞在可能(豪雨時退避場所)

避難必要

- ◆ 自宅の2階以上の部分
- ◆ 近くの堅牢な建物の2階以上

危険区域外への避難

避難!

- ◆ 自宅の2階以上の部分
- ◆ 近くの堅牢な建物の2階以上
- ◆ 土砂災害が迫るがけや沢筋から離れた部屋

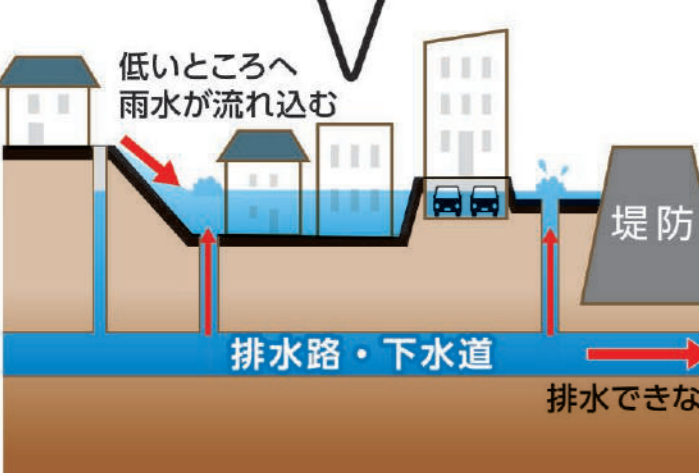
内水氾濫・外水氾濫 (洪水)

◆内水氾濫と外水氾濫とは



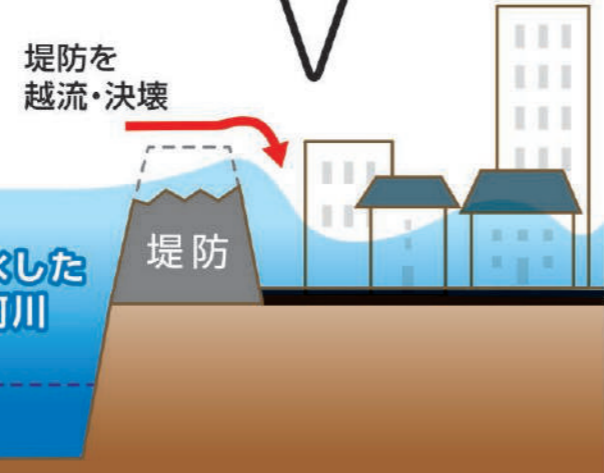
周りより低い土地で起こりやすい
排水機能の不全が原因

排水路や下水道の排水能力を超える大量の雨が降ったり、河川の水位が上昇して排水路等から河川に排水できなくなったときに、溢れ出した雨水で建物や道路が浸水してしまいます。



河川の近くで起こりやすい
河川の増水が原因

河川の堤防から水が溢れたり、堤防が決壊することにより、市街地や田畑に水が流れ込む現象のことをいいます。広範囲で浸水するおそれがあります。



※洪水ハザードマップは、P31からP56に掲載。
内水のハザードマップは、今後データ版で公表予定です。

土砂災害

近年、全国各地で大きな土砂災害が発生しており、私たちの暮らしに大きな被害を及ぼしています。土砂災害とは、がけ崩れ、土石流、地すべりのことをいい、勾配の急な山やがけ、溪流のある地域に発生します。

◆土砂災害の形態

がけ崩れとは

● 警戒区域
● 特別警戒区域

高さ5m以上
勾配30度以上

雨や地震などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。人家を襲うと逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。

土石流とは

● 警戒区域
● 特別警戒区域

山や谷(溪流)の土砂や木の一部分が長雨や集中豪雨などで水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。流れの速さは時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

地すべりとは

● 警戒区域
● 特別警戒区域

大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、地下水の力によって持ち上げられた地面がゆっくりと斜面下方へ動き出す現象。一般的に広範囲にわたり動くため、甚大な被害を及ぼす可能性が高くなっています。

◆土砂災害警戒区域(特別警戒区域)の指定について

静岡県では、*土砂災害防止法に基づいて調査を実施し、土砂災害警戒区域(特別警戒区域)の指定を行っています。警戒区域等に指定されると市では、ハザードマップの更新等により、警戒避難態勢の整備を行います。

*土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

・土砂等の崩壊によって、被害のおそれのある区域であり、対象区域の世帯等には、ハザードマップを配布します。

408箇所

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

・土砂等の崩壊によって、住宅等の建築物が崩壊し、住んでいる人の生命や身体に大きな危害を生ずるおそれのある区域であり、開発行為に規制がかかり、建築物の移転を求められることもあります。

350箇所

※令和8年3月末現在

◆土砂災害警戒区域(特別警戒区域)に該当する地区

警戒レベル4相当の防災気象情報が発表された場合、市では以下の地区に対して、原則、避難指示を発令します。ただし、発令に当たっては、その他の防災情報や現地の状況等を総合的に判断することになりますので、P20の情報収集手段などから正しい情報を入手できるようにしてください。

対象地区一覧表	青木区	内房第2区	上稲子区	下稲子区	杉田5区	貴戸区	村山1区	栗倉2区	源道寺区
	青木平区	内房第3区	上柚野区	下条下区	杉田6区	沼久保区	村山2区	栗倉3区	小泉6区
	安居山1区	内房第4区	上羽鮎区	下柚野区	高原区	半野区	村山3区	栗倉4区	淀師区
	安居山2区	馬見塚区	狩宿区	下羽鮎区	田中区	麓区	山宮2区	万野1区	山宮1区
	栗倉1区	大岩1区	北山1区	精進川上区	外神区	星山1区	山本区	富士見ヶ丘区	
	猪之頭区	大久保区	北山2区	精進川下区	鳥並区	星山2区	万野希望区	大鹿窪区	
	内野区	大中里区	北山4区	杉田3区	長貴区	万野3区	大岩3区	日の出区	
内房第1区	上井出区	黒田区	杉田4区	西山區	万野4区	人穴区	原区		

※対象地区は、静岡県の指定状況により増える可能性があります。
※令和8年3月末現在

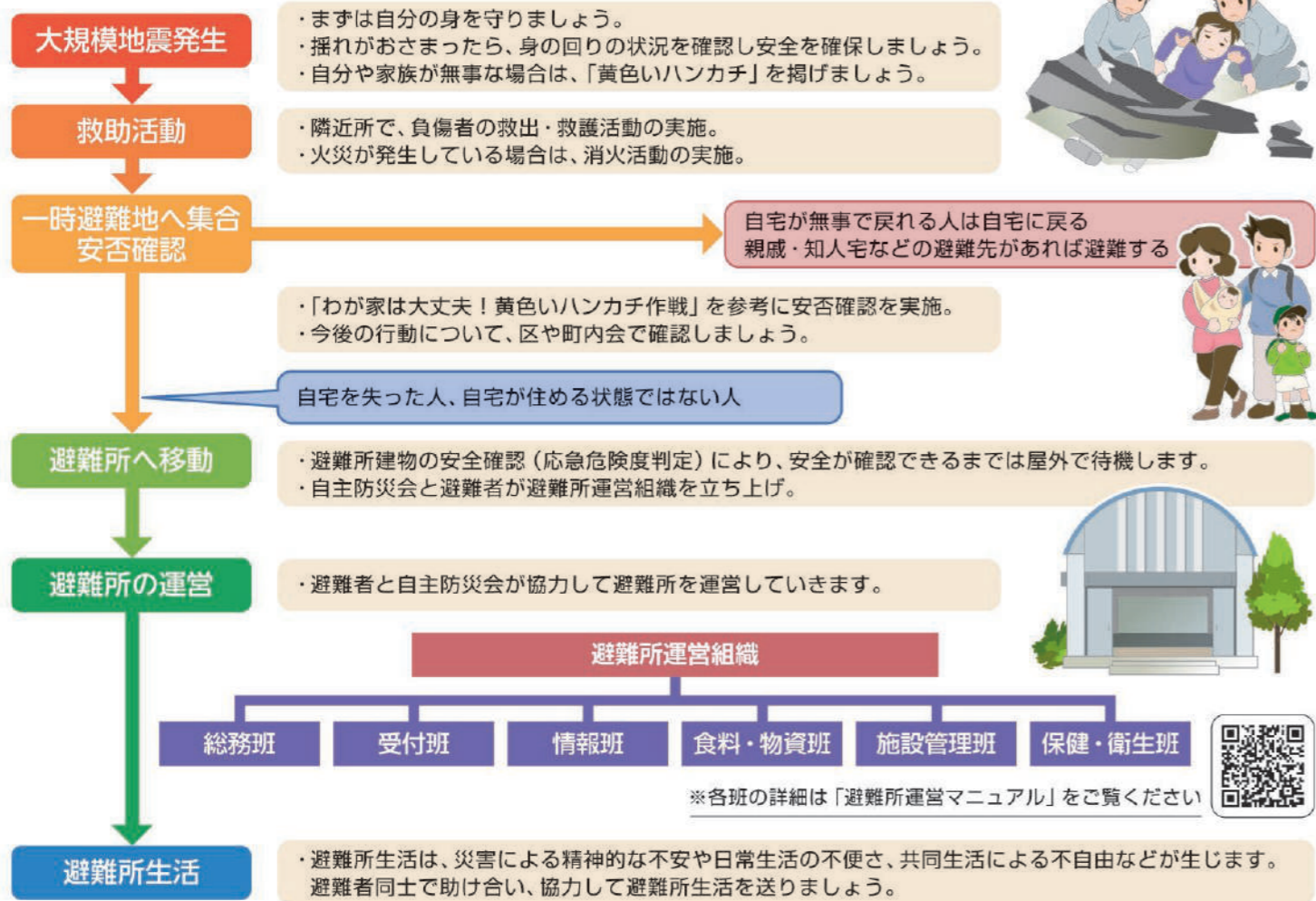
災害時の自主防災活動

◆地震災害時の避難と自主防災活動

大規模災害により自宅が被災し、自宅での生活が困難になった場合や、避難指示等により避難を余儀なくされた場合は、市の指定避難所で避難生活を送る場合があります。

ここでは、大規模地震の発生を例に挙げ、地震発生から市指定避難所が開設されるまでの流れを紹介します。

◆地震発生からの流れ



避難所生活では、様々な人たちと共同生活を送ることになります。できる限りの配慮・工夫をお願いします。



- 男女別の専用スペースだけでなく、性別に限らないスペース（更衣室、シャワー室、多目的トイレなど）を設ける。
- 女性や子育て世帯、障がい者など、それぞれの立場で要望を伝えやすい場を整えたり、専用スペースなどがあるとよい。
- 物資の配布場所等には男女両方のスタッフを配置するとともに、リクエスト用紙などを用いて伝えやすくする工夫をするとよい。
- 子どもや外国人でもわかりやすい掲示や案内を心がける。

◆ペットとの同行避難について

富士宮市では全ての指定避難所（44か所）でペットの同行避難ができます。（避難所ではケージ飼育になります。）災害時にペットをスムーズに避難させるため、普段から次の備えをしておきましょう。

◆基本的なしつけをする

動物が苦手な人やアレルギーを持っている人もいます。他の避難者の迷惑にならないよう、むやみに吠えさせない、ケージ内で過ごせるようにするなど、普段からしつけをしておきましょう。

◆飼い主が確認できるものを着ける

災害時飼い主とはぐれてしまう可能性も考えて、鑑札や迷子札、マイクロチップなどを着けておきましょう。

◆防災用品をそろえる

避難所にペット用の食料品や生活用品はありません。持ち出し品として準備しましょう。

- ドライフード、水、缶詰（5～7日分）
- 首輪、リード、ケージ、キャリーバッグ
- 薬、病気や健康状態に合わせた食事（療法食）
- 食器、トイレ用品、ブラシなど生活用品



指定避難所では、ペットを人の居住エリアに連れていくことはできません。ペットスペースを設営・運営するための「スターターキット」を用意していますので、飼い主同士で協力して設営・運営を行い、飼い主の責任でペットの管理をしてください。

問合せ先 生活環境課 ☎0544-22-1151

◆自治会への加入について

地域での助け合いを実践するには、防災訓練などに参加し、平時から隣近所同士のつながりを持つことが大切です。いざというときに備えるためにも、自治会への加入と、防災訓練への積極的な参加をお願いします。

総合防災訓練 8月最終日曜日 地域防災訓練 12月第1日曜日

※各自主防災会で、日程が異なります。

◆個別避難計画

高齢者や障がいがある方など、災害時に自力では避難することが困難な方について、「誰が支援するか」、「どこに避難するか」、「避難するときどのような配慮が必要か」など、一人ひとりの状況に合わせてあらかじめ計画したものを「個別避難計画」といいます。この計画を作成しておくことで、災害時の迅速かつ適切な避難ができることにつながります。

下記の「避難行動要支援者」に該当する方で、災害時に支援を必要とする方は、市役所福祉企画課にご相談ください。

避難行動要支援者

- (1) 75歳以上の高齢者のみの世帯の方
- (2) 要介護3～5の認定を受けている方
- (3) 身体障がい者手帳1級または2級の交付を受けている方
- (4) 療育手帳Aの交付を受けている方
- (5) 精神障がい者保健福祉手帳1級または2級の交付を受けている方
- (6) 特定疾病治療研究事業の医療費支給認定を受けている難病患者の方
- (7) (1)～(6)に該当しないが、災害時に支援が必要で自ら登録を希望する方

問合せ先 福祉企画課 ☎0544-22-1457

避難行動要支援者についてはこちら▶

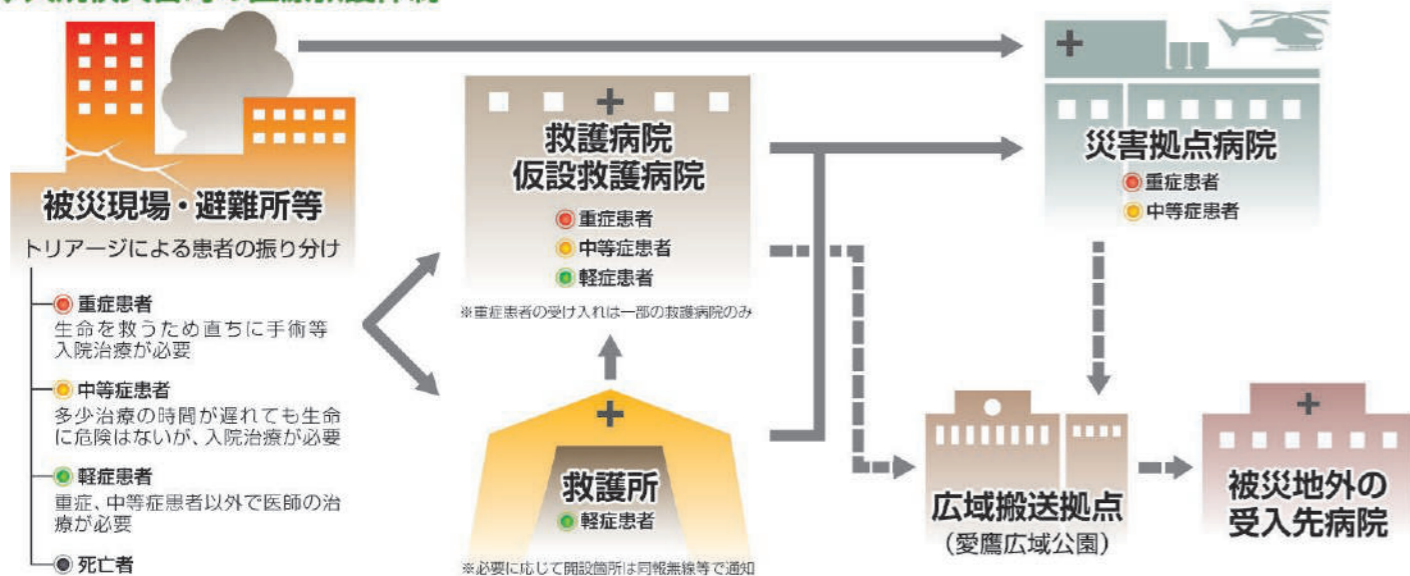


災害時の医療救護活動

◆災害時の医療救護活動

大規模な地震等が発生したときには、多数の負傷者が予想されますが、すぐに医師による治療が受けられるとは限りません。負傷者を発見した場合は、まず応急手当を行い、傷病の程度に応じて救護所等の医療救護施設に搬送するようにしてください。

◆大規模災害時の医療救護体制



◆災害時傷病者搬送先一覧 (富士宮市災害時等医療救護計画より抜粋)

医療救護対象者		医療救護施設等	対応場所	
1 被災により直接傷病を負った者	重症患者	災害拠点病院で対応困難な重症患者	被災地外の受入先病院 ・広域搬送拠点(愛鷹広域公園)を中継	
		他の医療機関で処置の困難な重症患者とクラッシュ症候群発症者	災害拠点病院 ・富士宮市立病院	
	生命を救うため、直ちに手術等入院治療を必要とする者	災害拠点病院 一部の救護病院	・富士宮市立病院 ・一般財団法人富士脳障害研究所附属病院(脳外偏に限る) ・共立蒲原総合病院	
	中等症患者	多少治療が遅れても、生命に危険はないが入院治療を要する者	災害拠点病院 救護病院 仮設救護病院	・富士宮市立病院 ・医療法人社団藤友会フジヤマ病院 ・一般財団法人富士脳障害研究所附属病院 ・共立蒲原総合病院
開放骨折患者等を中心とした中等症患者		災害拠点病院	・富士宮市立病院	
2 日常的に発生する救急患者	軽症患者	上記以外の者で医師の治療を必要とする者	救護病院 救護所※1 仮設救護病院	・医療法人社団藤友会フジヤマ病院 ・一般財団法人富士脳障害研究所附属病院 ・富士宮市救急医療センター ・富士宮駅南口 ・市立上野中学校 ・市立黒田小学校 ・市立大富士中学校 ・市立北山中学校 ・市立芝川中学校 ・市立富士根北小学校 ・市立富士根南中学校
		死亡者	死亡の確認	医療救護施設※2
3 高度・特殊医療を要する在宅養護者	口腔外科処置を必要とする傷病者の処置		歯科救護所 ・富士宮市救急医療センター	
	①人工透析医療を要する者	人工透析医療機関	・富士宮市立病院 ・富士宮東名富士 ・指田泌尿器科 ・やまぎし腎クリニック	
	②定常的な治療を要する難病患者など	かかりつけの医療機関		
4 災害時における異常な状況下において、ストレスによる情緒不安定等の症状が認められる者	③人工呼吸器等高度・特殊医療機器の装着を要する者など		かかりつけの医療機関	
	ASD (急性ストレス障害)・PTSD (心的外傷後ストレス障害)などの症状が認められる者	避難所等における精神保健医療		

※1 必要に応じて開設場所は同報無線等で通知

※2 歯科救護所を除く

情報収集

正しい防災情報を入手しましょう。テレビではニュースや天気予報番組だけでなく、データ放送で気象情報や防災情報について常時放送しています。情報を入手する方法を普段からいろいろ確認しておきましょう。

同報無線

・防災情報を同報無線でお知らせします。
・同報無線の自動応答サービス：同報無線で放送した内容を電話で確認できます。 ☎0544-24-8020

富士宮市メール配信サービス

<https://www.city.fujinomiya.lg.jp/shiseijoho/koho/mail/index.html>



静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」

<https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinky/bosaijoho/bosaiapli/index.html>
※外国語対応あり (11言語に対応)



気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



富士宮市わが街ガイド「宮まっぷ」

<https://www.city.fujinomiya.lg.jp/1015410000/p003211.html>



国土交通省「川の防災情報」

<https://www.river.go.jp/index>



耳で聴くハザードマップ

<https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/bosaijoho/bosaiapli/1077217.html>



防災ラジオ

大雨や台風時は特に同報無線が聞き取りにくくなり、防災ラジオが役立ちます。1台3,800円です。(R7年度現在) 詳細は危機管理局まで。

富士宮市SNS

<https://www.city.fujinomiya.lg.jp/shiseijoho/koho/sns/index.html>



富士宮市災害情報

<https://www.city.fujinomiya.lg.jp/saigaijoho/index.html>



静岡地方気象台ホームページ

<https://www.jma-net.go.jp/shizuoka/>



静岡県GIS

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/>



静岡県土木総合防災情報「SIPOS-RADAR」

<https://sipos.pref.shizuoka.jp/>



富士宮市総合防災マップ

データ版で随時更新をしています。
<https://www.city.fujinomiya.lg.jp/105010000/p000002.html>



◆災害から避難するタイミングを考えておこう!

マイ・タイムライン

市民一人ひとりの「防災行動計画」のことで、台風等の大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。



富士宮市
マイ・タイムライン



わたしの避難計画

身の回りの災害リスクに備えて、「どのタイミング」で「どこに」避難するか、あらかじめ整理するものです。「わたしの避難計画」を作成し、目のつく場所に貼っておくことで、いざという時の避難に役立ちます。



富士宮市
わたしの避難計画



非常持出品

◆非常持ち出し品・備蓄品の準備

大規模な災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまうことが考えられます。ライフラインが止まっても生活ができるよう、家庭の状況に合わせて、必要な食料や生活必需品を普段から備えておくようにしましょう。

携帯品

いつ、どこで災害が起こるかわかりません。外出時でも最低限必要なものを携帯しておきましょう。車に積んでおいてもよいでしょう。

非常持出品：避難時に持ち出すもの

いざという時に持ち出すもの、身に着けるものを準備しておきましょう。

備蓄品：避難生活のために用意しておくもの

ライフラインが止まっても、生活のために数日はまかなえるように、備蓄しましょう。(水・食料・トイレは7日分)

項目	携帯	持出	備蓄	備考
水	○	○	○	1人当たり1日3ℓ×7日分
食料	○	○	○	飴やお菓子等そのまま食べられるもの+保存食(調理が簡単なものが便利)
現金	○	○	○	
携帯電話・スマートフォン	○			
モバイルバッテリー	○	○		スマートフォンの使用頻度が高くなるので必需品
本人確認書類	○	○		マイナンバーカード、免許証など(持出品用にコピーを取っておくとよい)
携帯トイレ	○	○	○	1人当たり1日5~6回×7日分。車に積んでおくと、洗滌時などにも役立つ
マスク	○	○	○	感染症対策+防寒用にも効果あり
消毒液	○	○	○	断水で手洗いでできない時に重宝する
ティッシュ・ウェットティッシュ	○	○	○	ウェットティッシュは入浴できない時に体を拭くこともできる
救急セット		○		絆創膏、包帯、常備薬等
防犯グッズ		○		防犯ブザーやホイッスルなど。助けを呼ぶとき等にも使用できる
携帯ラジオ	○	○		情報を入手する際に必要
電池		○	○	使用期限に気を付けて保管すること
ポリ袋		○	○	サイズも大小いろいろあると便利
タオル		○	○	バスタオルやフェイスタオルなど様々なサイズがあると便利。防寒にも使える
懐中電灯		○		
ヘルメット(防災頭巾)		○		
ロープ		○	○	救助や避難時にあると便利
ガムテープ		○	○	
雨具	○	○		
防寒具	○	○		カイロ、アルミブランケット等
冷却グッズ	○	○		ハンディファン、冷却シート等
衣類		○		下着や靴下等も含む。動きやすいものを選ぶとよい
毛布または寝袋			○	
スリッパ		○	○	
口腔ケア用品	○	○	○	
食器類			○	紙皿、紙コップ、割り箸等使い捨てのものがあれば便利
ラップ			○	食器に巻いて使う、体に巻いて防寒など用途はいろいろ
カセットコンロ・カセットボンベ			○	電気・ガスが不通のときに重宝する。ボンベは多めに準備しておくとうい

◆家族構成などに合わせて必要なもの(例)

乳幼児

- ミルク(粉・液体)
- 哺乳瓶
- 紙おむつ
- おしりふき
- 離乳食
- スプーン
- 抱っこ(おんぶ)ひも
- おもちゃ
- おやつ
- 母子手帳(コピー) など

女性

- 生理用品
- サニタリーショーツ
- サニタリー用ゴミ袋
- 防犯ブザー
- 化粧品類
- くし、鏡
- など

普段と同じ生活をする
ことでストレス軽減につなが
ります。

高齢者

- 紙おむつ
- 入れ歯、洗浄液
- 介護食
- 老眼鏡
- 処方薬
- お薬手帳(コピー) など

その他 自分に必要なもの

- めがね・コンタクト
- 持病等で必要なもの
- 処方薬
- お薬手帳(コピー)
- 補聴器
- 杖
- 障害者手帳(コピー) など

妊婦

- 分娩準備品
- 生理用品
- 新生児用品
- 母子手帳(コピー) など

ペットがいる家庭

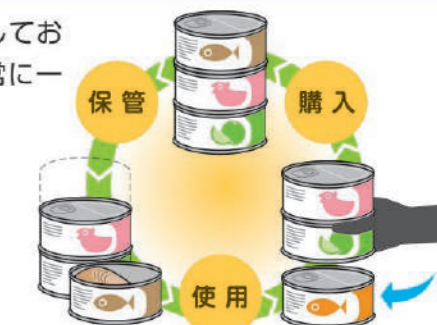
- ペットフード
- 水
- キャリーケース/ケージ
- リード
- トイレ用品 など

ローリングストックをしましょう

「ローリングストック」とは、いつも食べているものを少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

- ① 普段食べている食材(缶詰やレトルト食品等)を多めに買って、蓄える。
- ② 普段の食事で食べる。
- ③ 食べた分を買い足して補充する。

「①蓄える」→「②食べる」→「③補充する」ことを繰り返しながら、常に一定量の食品を備蓄しておきましょう。



◆携帯トイレを備蓄しましょう

大規模災害が発生した場合、建物の被害はなくても、上下水道が破損していると水洗トイレが使えなくなります。そのまま使用すると、トイレが詰まる・汚水が逆流するなど、衛生面でも問題が生じます。

災害時であっても、トイレは我慢できません。各家庭で携帯トイレを備蓄しておくようにしましょう。

◆一般的な携帯トイレの使い方



◆最低でも1週間分は備蓄しましょう

1人当たり1日約5回
×
家族の人数分
×
7日分
※4人家族なら約140回分

◆災害時に自分を守る「自助」

大規模災害が起きた時、自分の命を守るのは自分自身です。普段から、自分に必要な食料や物品の備蓄、家の周りの危険箇所の確認、家具の固定、避難場所の確認など、備えをしておきましょう。

災害廃棄物

大規模災害によって発生したごみはどのように捨てたらいいの？



◆ 災害が起きたときに出るごみ(大別)

生活ごみ

日常生活を送るうえで発生するごみ



生活ごみ

携帯トイレのごみ

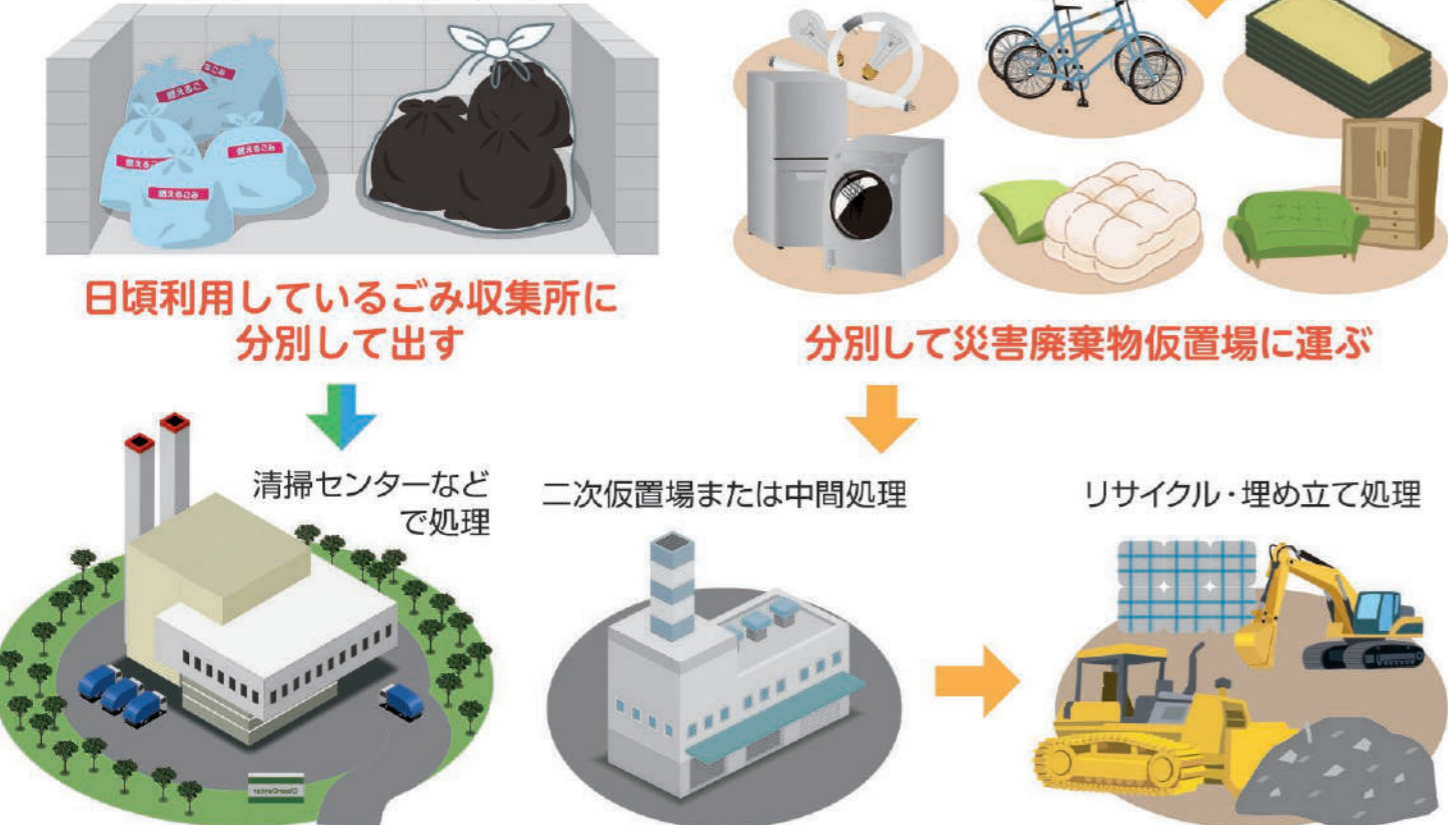
災害によりトイレが使えないときに発生するごみ



携帯トイレごみ

災害ごみ

災害を受けたことで発生する片付けごみ



災害廃棄物の仮置き場とは...

災害が起きたときに発生する大量のごみを一時的に置いておく場所。ここで適正に分別・保管することで、迅速なごみ処理に繋がります。
※仮置き場を開設する際は、広報やSNSなどにより、場所・期間をお知らせします。

分別された仮置場



注意

分別がされず、様々なごみが混合状態になると、悪臭や害虫が発生したり、火災の原因になったりと、二次被害の要因になってしまいます。

【野積みされた災害廃棄物】

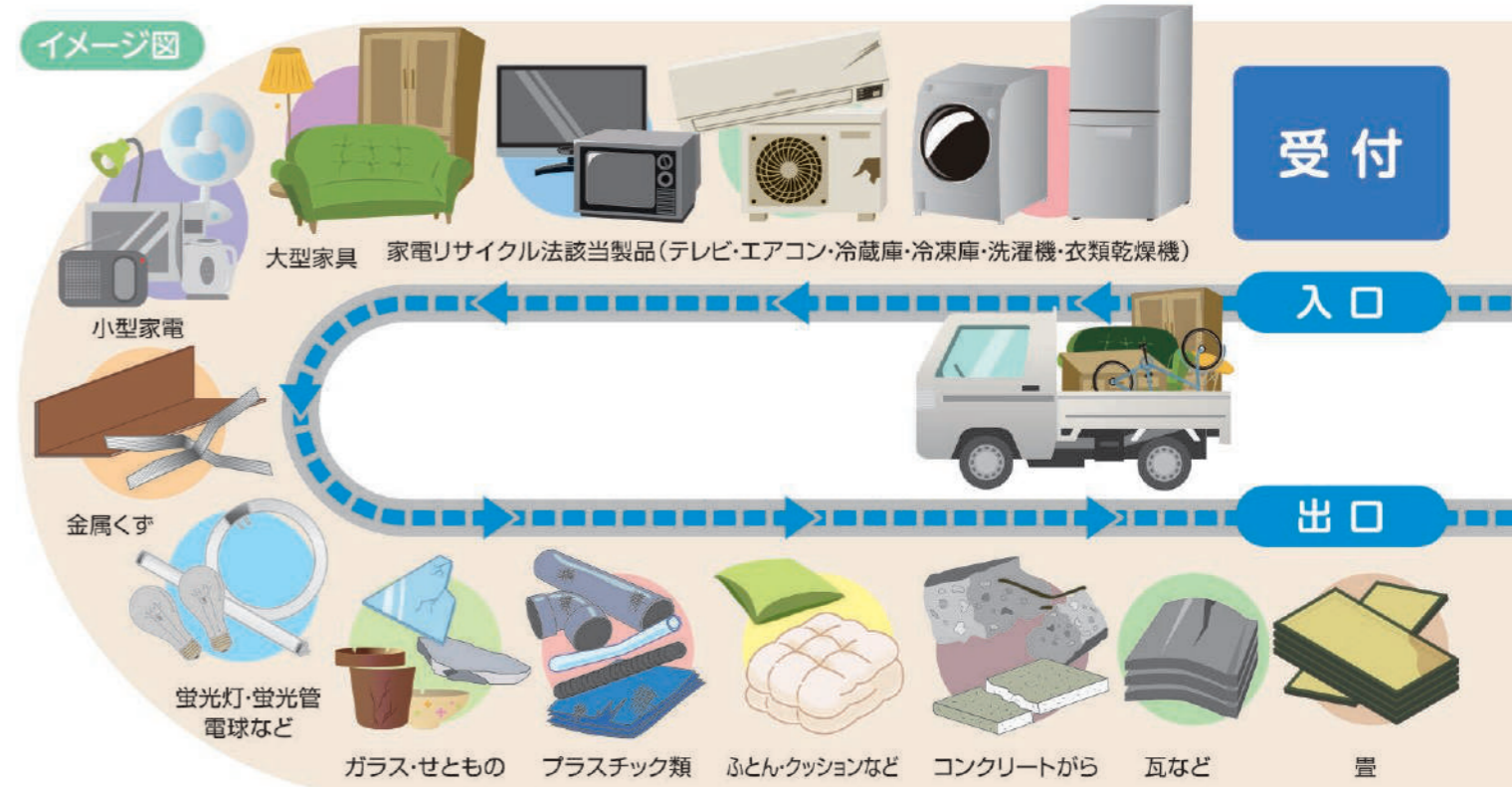


引用：静岡市清水区(令和4年台風15号被災時)

仮置場での災害ごみの降ろし方

仮置場では、災害ごみの種類ごとに、決められた場所に降ろしてください。

イメージ図



問合せ先 生活環境課 ☎0544-22-1137

指定避難所一覧

○避難所

災害により住宅を失った人、住宅が破損して生活できない状態の人が一定期間避難生活をする場所

地区名	地区本部	施設名	自主防災会
大宮東	第一中学校	東小学校	咲花区・大和区・瑞穂区
		第一中学校	阿幸地区(1~3、5、6町内)・日の出区
大宮中	第二中学校	第二中学校	木の花区・城山区
		大宮小学校	常磐区・神田区・浅間区
大宮西	市民文化会館	市民文化会館	福地区・神賀区・神立区・宮本区・高嶺区
		貴船小学校	貴船区・松山区・羽衣区
大宮南	西公民館	第三中学校	野中1区・野中2区・野中3区・野中4区・神田川区
		西小学校	安居山1区・安居山2区・沼久保区
大宮北	富士宮北高等学校	富士宮北高等学校	三園平区・琴平区・二の宮区・淀師区(1、2、5~8、10町内)・淀橋区(1~4、6、8町内)
大富士見	大富士交流センター	大富士小学校	万野1区・万野3区・万野4区・万野希望区
		大富士中学校	万野2区・宮原1区・外神東区
		富士見小学校	ひばりが丘区・富士見ヶ丘区・大岩3区・舞々木区
黒田	南部公民館	黒田小学校	黒田区・星山2区
		星陵中学校・高等学校	貫戸区・星山1区・高原区・高原1区・高原2区・山本区
小泉西	富士宮東高等学校	富岳館高等学校	源道寺区・田中区
		富士宮東高等学校	上小泉区・小泉6区・大岩2区
富士根南	富士根交流センター	富士根南小学校	小泉1区・小泉2区・小泉3区・小泉4区・小泉5区
		富士根南中学校	杉田1区・杉田2区・杉田3区・杉田4区・杉田5区・杉田6区・大岩1区

地区名	地区本部	施設名	自主防災会
富士根北	富士根北公民館	栗倉分校	栗倉3区
		富士根北小学校	栗倉1区・栗倉2区・栗倉南区・舟久保区・村山1区(3町内)
		富士根北中学校	村山1区(1、2町内)・村山2区・村山3区・栗倉4区
富丘南	第四中学校	第四中学校	大中里区・淀橋区(5、7町内)・淀師区(3、4、9町内)
富丘北	富丘交流センター	富丘小学校	青木区・青木平区
		富士宮西高等学校	外神区・宮原区
北山	北山会館	北山小学校	北山1区・北山2区
		北山中学校	北山3区・北山4区
		山宮小学校	山宮1区・山宮2区・山宮3区・山宮4区
上野	上野会館	上野小学校	馬見塚区・下条上区・下条下区
		上野中学校	精進川上区・精進川下区・上条上区・上条下区
白糸	白糸会館	白糸小学校	内野区・原区・半野区・狩宿区
上井出	上井出公民館	人穴小学校	人穴区
		西富士中学校	芝山区
		上井出小学校	上井出区
猪之頭	井之頭小学校	根原分校	根原区
		井之頭小学校	猪之頭区
		井之頭中学校	麓区・富士丘区
柚野	柚野小学校	柚野小学校	大鹿窪区・猫沢区・上柚野区・下柚野区・鳥並区・明光台区
		柚野中学校	
大久保長羽	芝川会館	芝富小学校	大久保区・長貫区(砂原1、2町内、楠金)
		芝川中学校	長貫区(上長貫、橋場、川合)・上羽鮒区・下羽鮒区・香葉台区
稲子	稲子小学校	稲子小学校	上稲子区
		下稲子公民館	下稲子区
内房	内房小学校	内房小学校	内房第1区・内房第2区・内房第3区・内房第4区
西山	芝川B&G海洋センター	芝川B&G海洋センター	西山区・稗久保区

指定緊急避難場所一覧

避難場所 災害が発生し、または発生するおそれがあり、災害の危険から命を守るため避難が必要と認められるときに、避難する場所または、建物
※火山については火山災害のページを参照

No	施設名	地震	大規模火事	洪水	土砂	指定避難所との重複
1	東小学校	○				○
2	第一中学校	○				○
3	第二中学校	○	○			○
4	城山公園	○	○			
5	大宮小学校	○		○		○
6	市民文化会館			○	○	○
7	中央図書館	○				
8	神田川ふれあい広場	○				
9	富知神社境内	○				
10	宝町公園	○				
11	貴船小学校	○				○
12	第三中学校	○	○			○
13	白尾山公園	○				
14	神田川北公園	○				
15	神田川南公園	○				
16	西小学校	○		○	○	○
17	富士宮北高等学校	○	○	○		○
18	大富士小学校	○				○
19	大富士中学校	○				○
20	大富士交流センター				○	
21	富士見小学校	○			○	○
22	市営舞々木墓地	○				
23	外神東公園	○				
24	黒田小学校	○			○	○
25	星陵中学校・高等学校	○	○	○		○
26	山本地区避難地	○				
27	富岳館高等学校	○		○	○	○
28	富士宮東高等学校	○	○			○
29	富士根南小学校	○				○
30	富士根南中学校	○		○	○	○
31	杉田区民センター	○				
32	粟倉分校	○				○

No	施設名	地震	大規模火事	洪水	土砂	指定避難所との重複
33	富士根北小学校	○				○
34	富士根北中学校	○				○
35	富士根北公民館				○	
36	舟久保団地市有地	○				
37	第四中学校	○	○			○
38	淀川北公園	○				
39	淀川中公園	○				
40	西保育園	○				
41	大中里こども園	○				
42	富丘小学校	○		○	○	○
43	富士宮西高等学校	○				○
44	北山小学校	○				○
45	北山中学校	○				○
46	北山会館				○	
47	山宮小学校	○			○	○
48	上野小学校	○				○
49	上野中学校	○		○	○	○
50	白糸小学校	○				○
51	白糸会館			○	○	
52	人穴小学校	○			○	○
53	西富士中学校	○				○
54	上井出小学校	○				○
55	上井出区民館			○	○	
56	根原分校	○				○
57	井之頭小学校	○				○
58	井之頭中学校	○		○	○	○
59	柚野小学校	○		○	○	○
60	柚野中学校	○				○
61	芝川B&G海洋センター	○			○	○
62	芝富小学校	○				○
63	芝川中学校	○	○	○	○	○
64	稲子小学校	○		○	○	○
65	下稲子公民館	○				○
66	内房小学校	○		○	○	○

洪水ハザードマップ

fujinomiya city flood hazard map



対象河川名	掲載ページ
(A) 富士川	p33-34
(B) 芝川(1・2・3・4)	p35-36
(C) 潤井川(1・2・3)	p37-38
(D) 五斗目木川	p39
(E) 半野川	p40
(F) 猪の窪川	p40
(G) 原川	p41
(H) 柚野布沢川	p41
(I) 大倉川	p42
(J) 猫沢川	p43
(K) 中沢川	p43
(L) 風祭川	p44
(M) 足取川	p45
(N) 大沢川	p45
(O) 久遠寺川	p46
(P) 神田川	p47
(Q) 山口川	p47
(R) 内房境川	p48
(S) 廻沢川	p48
(T) 大堰川	p49-50
(U) 稲子川	p51-52
(V) 弓沢川	p53-54
(W) 稲瀬川	p55-56

この洪水ハザードマップ(浸水想定区域図)は、各河川で想定される最大規模の氾濫(外水氾濫)が発生したときに浸水が予想される範囲、浸水の深さを示したものです。避難情報(避難指示等)は、観測場所の水位、市内各所の雨量、消防団等からの情報を総合的に判断して発令します。ただし、自然現象が対象となるので市から発表される避難情報だけに頼らず、周囲の状況を判断した上で危険と判断される場合は早目の避難をお願いします。

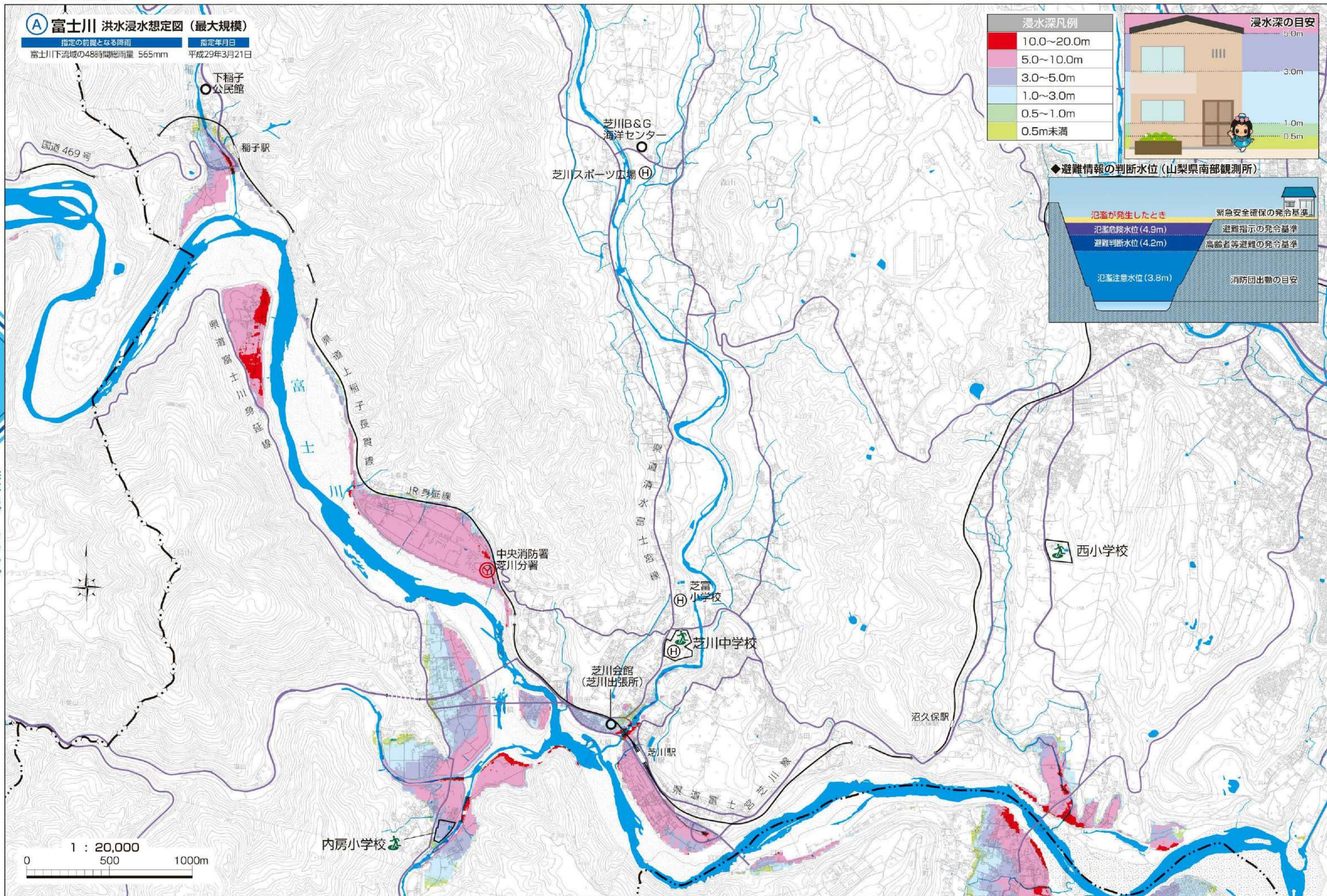
浸水想定的前提条件 浸水想定区域図(想定最大規模L2)

- この図は、対象河川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により各河川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

凡例	Legend	Modelo	
	市役所	City Hall	Prefeitura
	消防署	Fire Station	Quartel dos Bombeiros
	防災用ヘリポート	Disaster prevention heliport	Local Pouso e Decolagem dos Helicópteros
	指定緊急避難場所(洪水災害対応)	Emergency Evacuation Appointed Site	Locais de refugio em caso de emergência
	緊急物資集積所	Emergency supplies storage point	Depósito de Suplementos de Emergência
	緊急輸送路	Emergency transport route	Rota de Emergência
	災害拠点病院	Disaster Center Hospital	Hospital base em caso de terremotos
	主要河川	Principal River	Principais rios
	他県との境界線 他市との境界線	Border Line between Other Municipalities	Fronteira com outra cidade
	鉄道	Railway	Ferrovia
	新東名高速道路	Shin tomei Expressway	Expresso Shin Tomei

A 富士川 洪水浸水想定図 (最大規模)

指定の前提となる降雨 富士川下流域の48時間総雨量 565mm
 指定年月日 平成29年3月21日

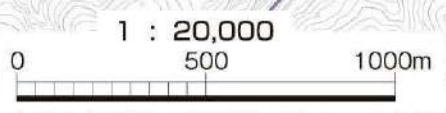


浸水深凡例	
10.0~20.0m	(Red)
5.0~10.0m	(Pink)
3.0~5.0m	(Purple)
1.0~3.0m	(Light Blue)
0.5~1.0m	(Green)
0.5m未満	(Yellow)



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ



① 潤井川 洪水浸水想定図 (最大規模)

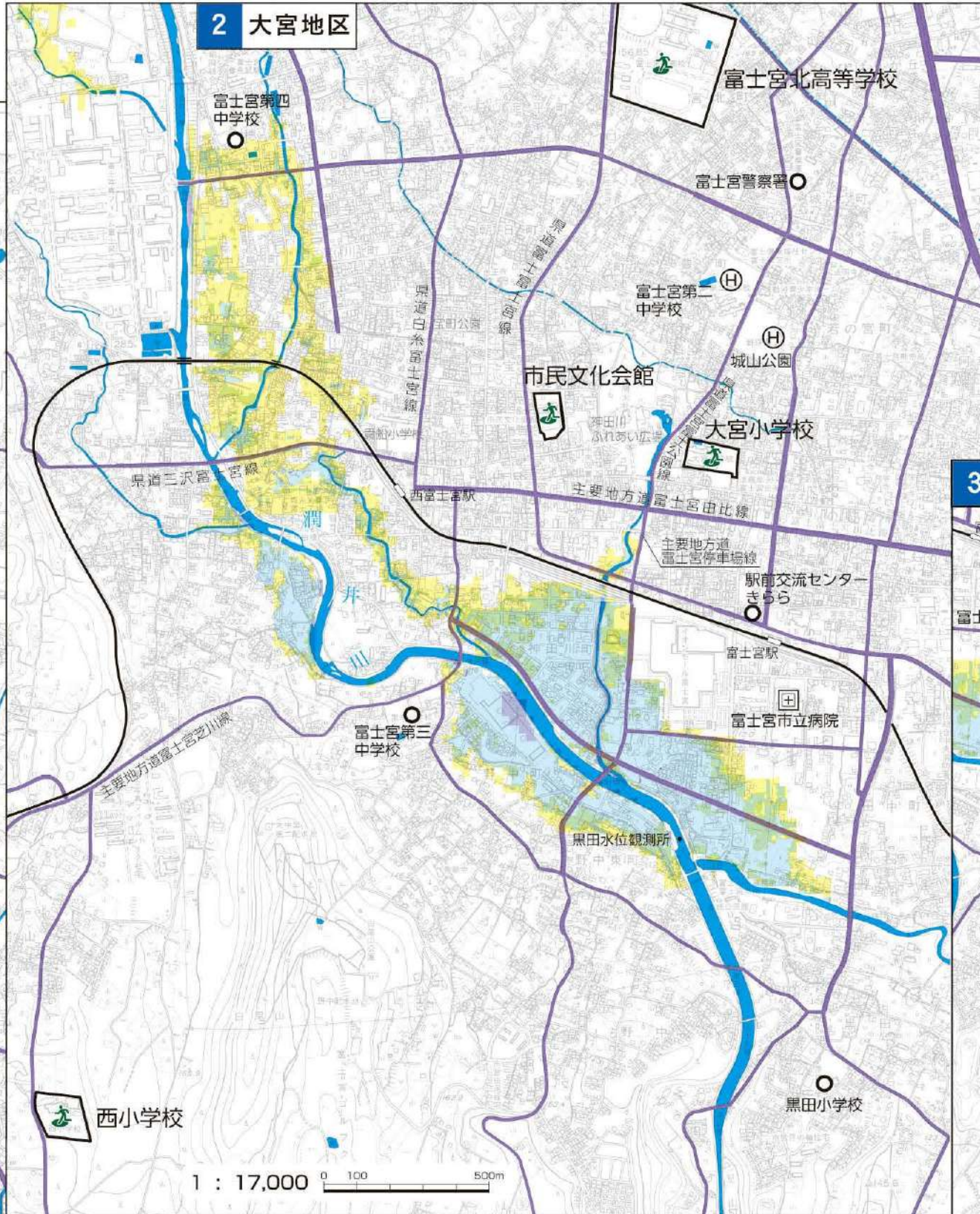
指定の前提となる降雨
潤井川流域の24時間総雨量673.4mm

指定年月日
令和7年3月31日

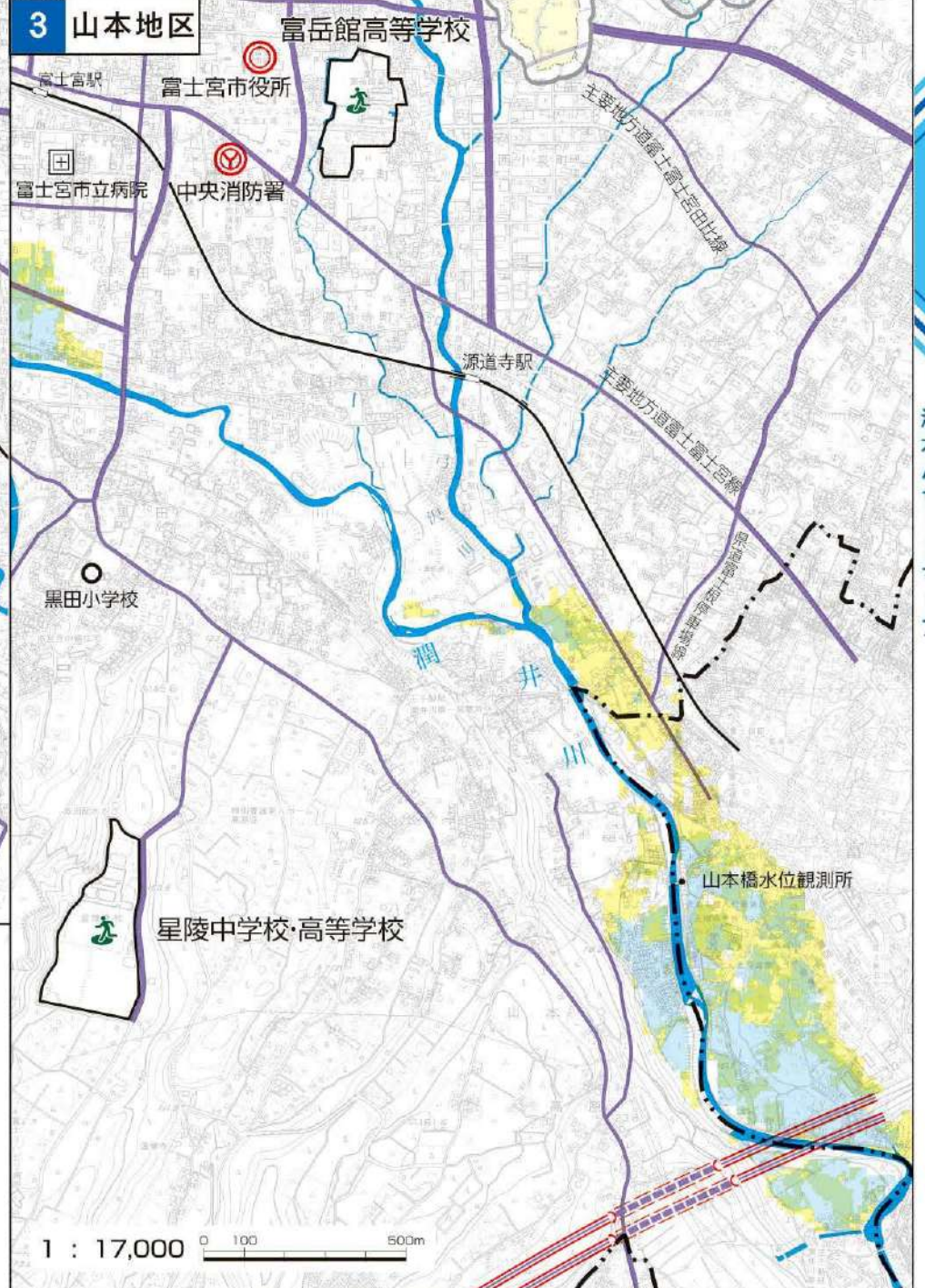
1 富丘地区



2 大宮地区



3 山本地区



位置図



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

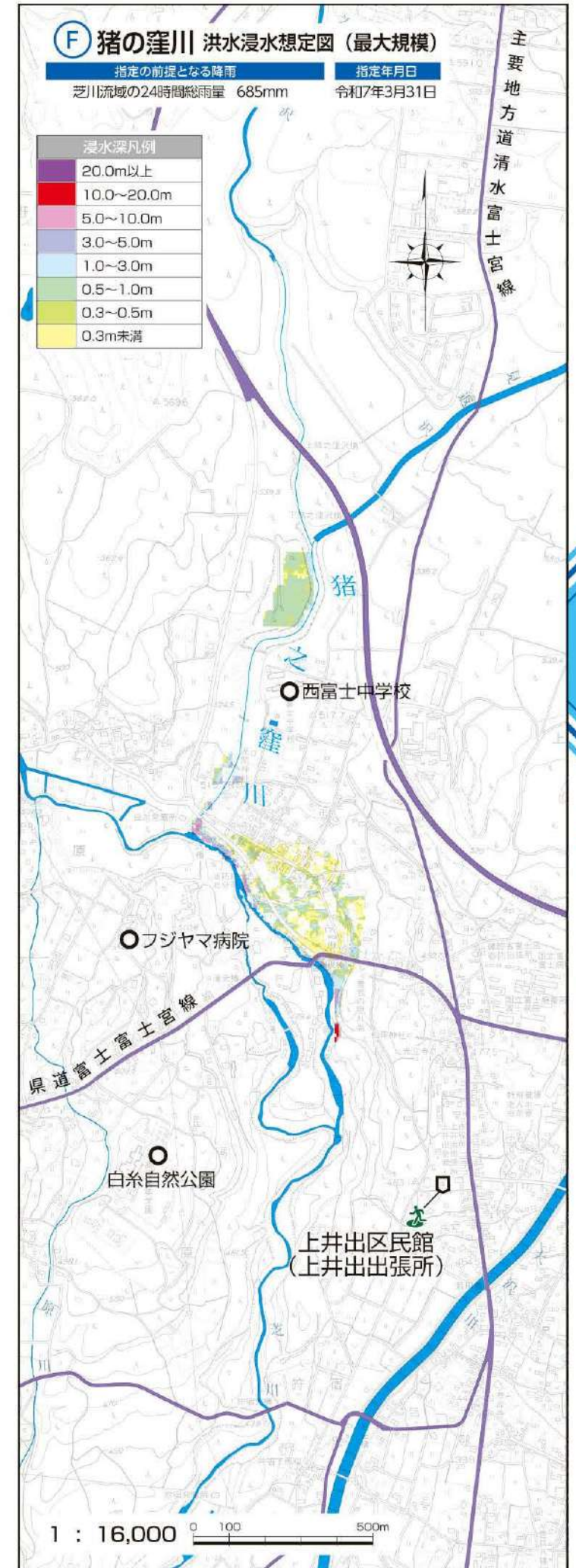
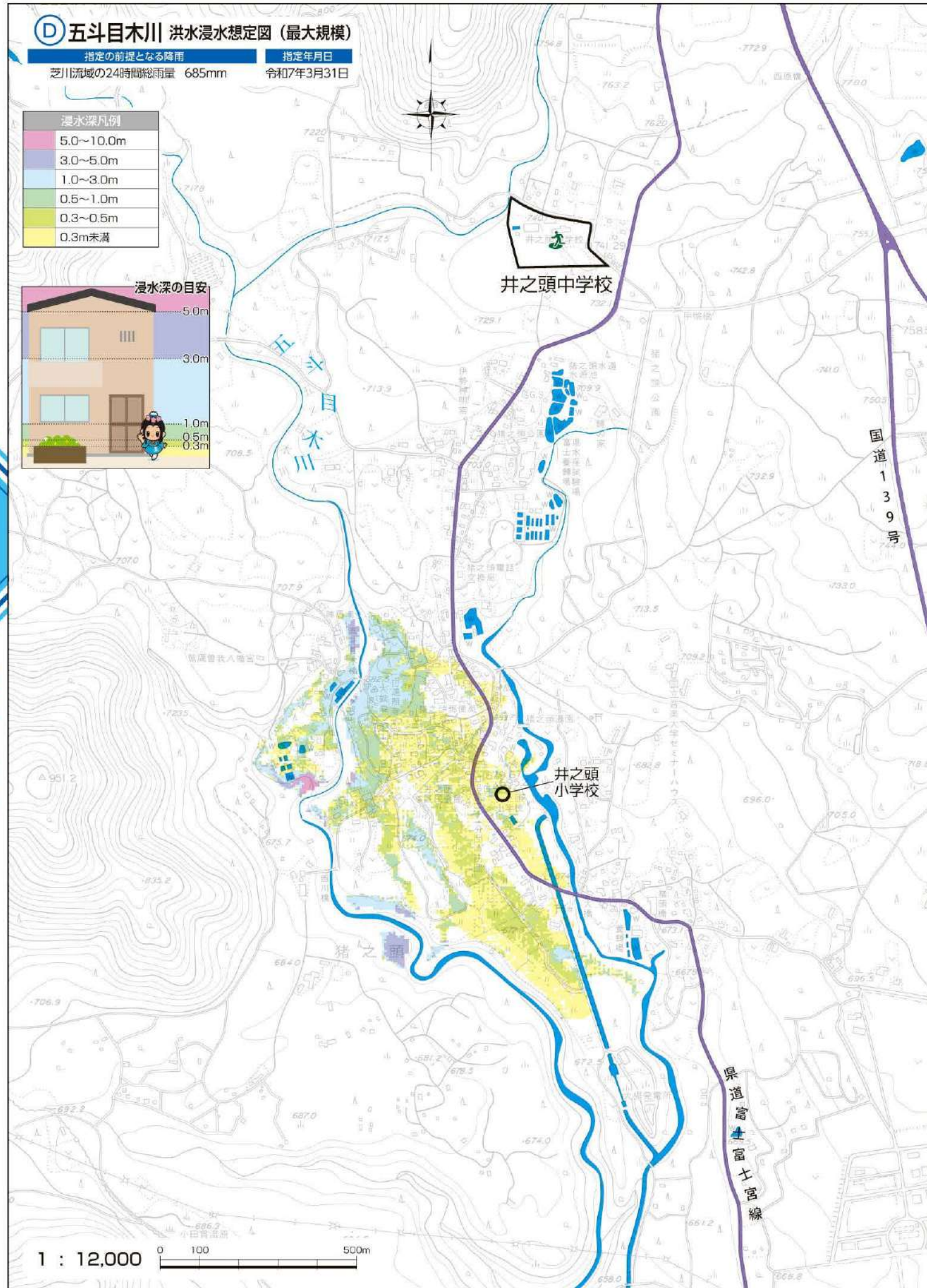
1 : 17,000 0 100 500m

1 : 14,000 0 100 500m

1 : 17,000 0 100 500m

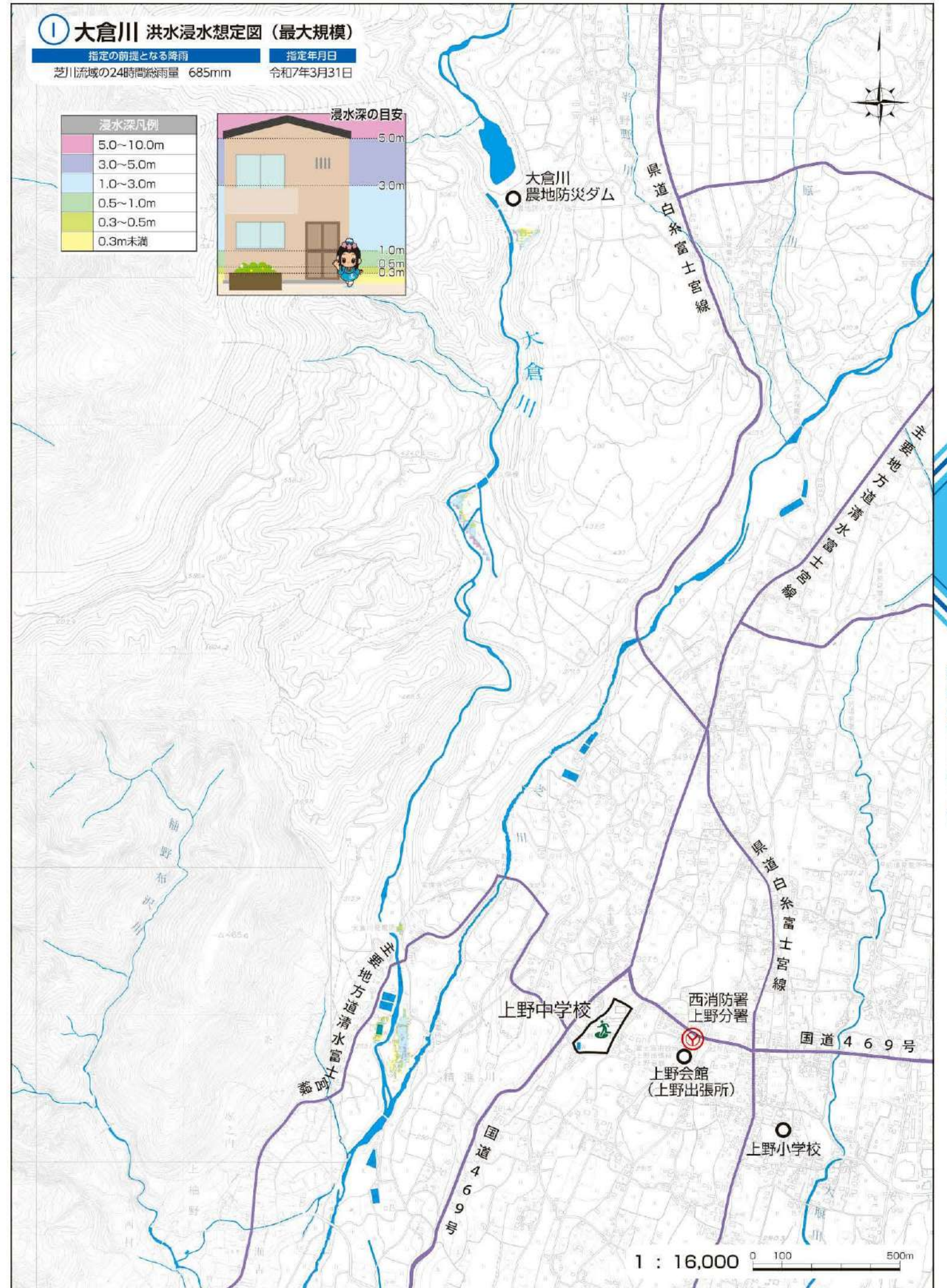
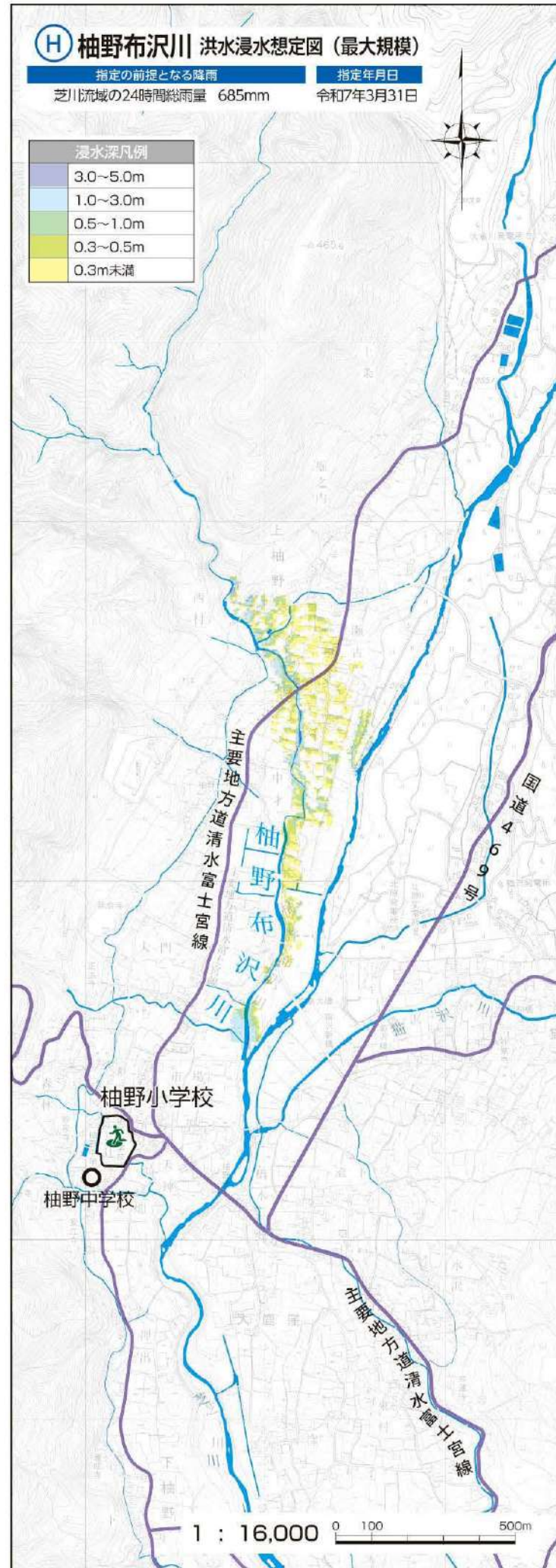
浸水深凡例	
5.0~10.0m	
3.0~5.0m	
1.0~3.0m	
0.5~1.0m	
0.3~0.5m	
0.3m未満	





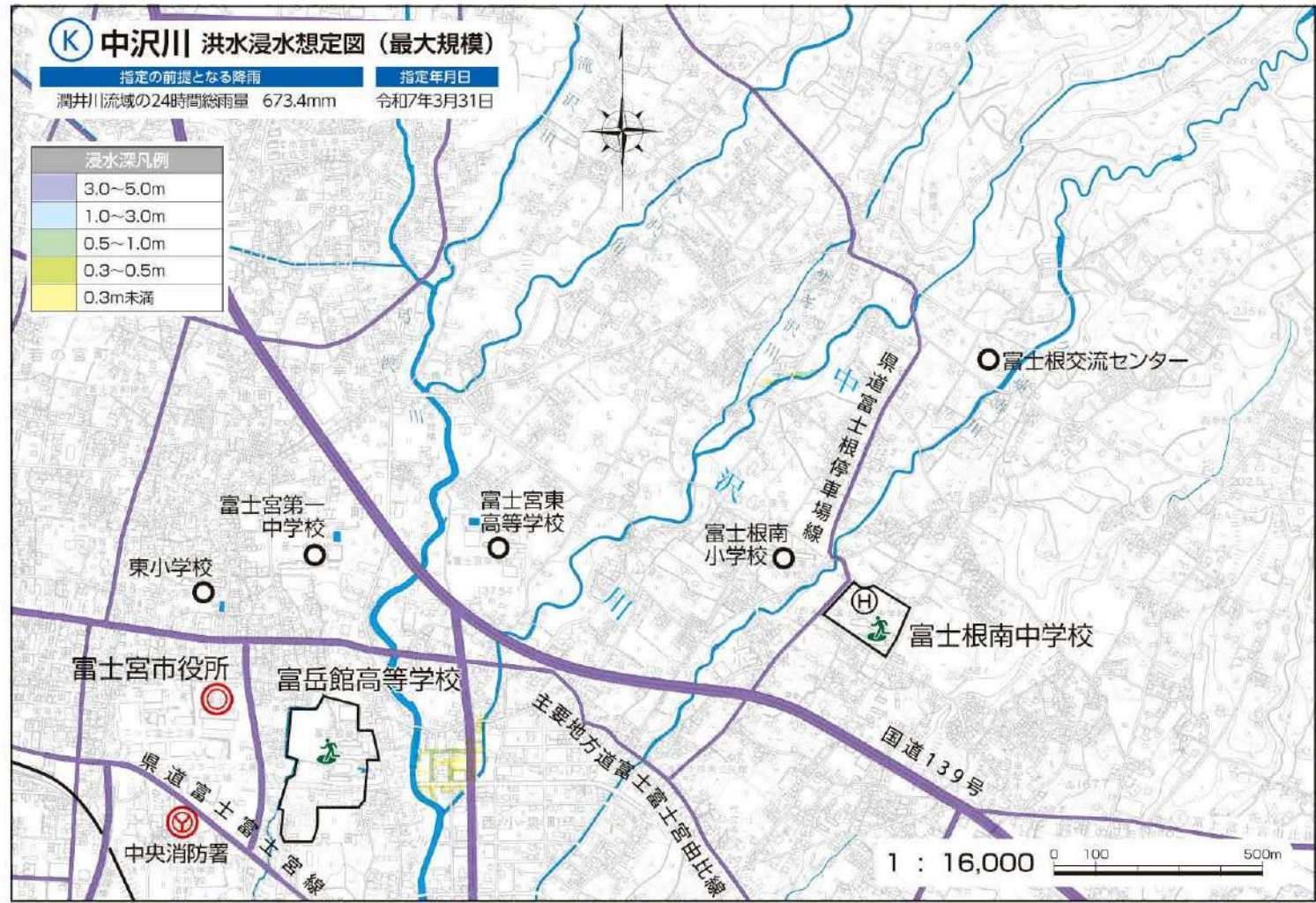
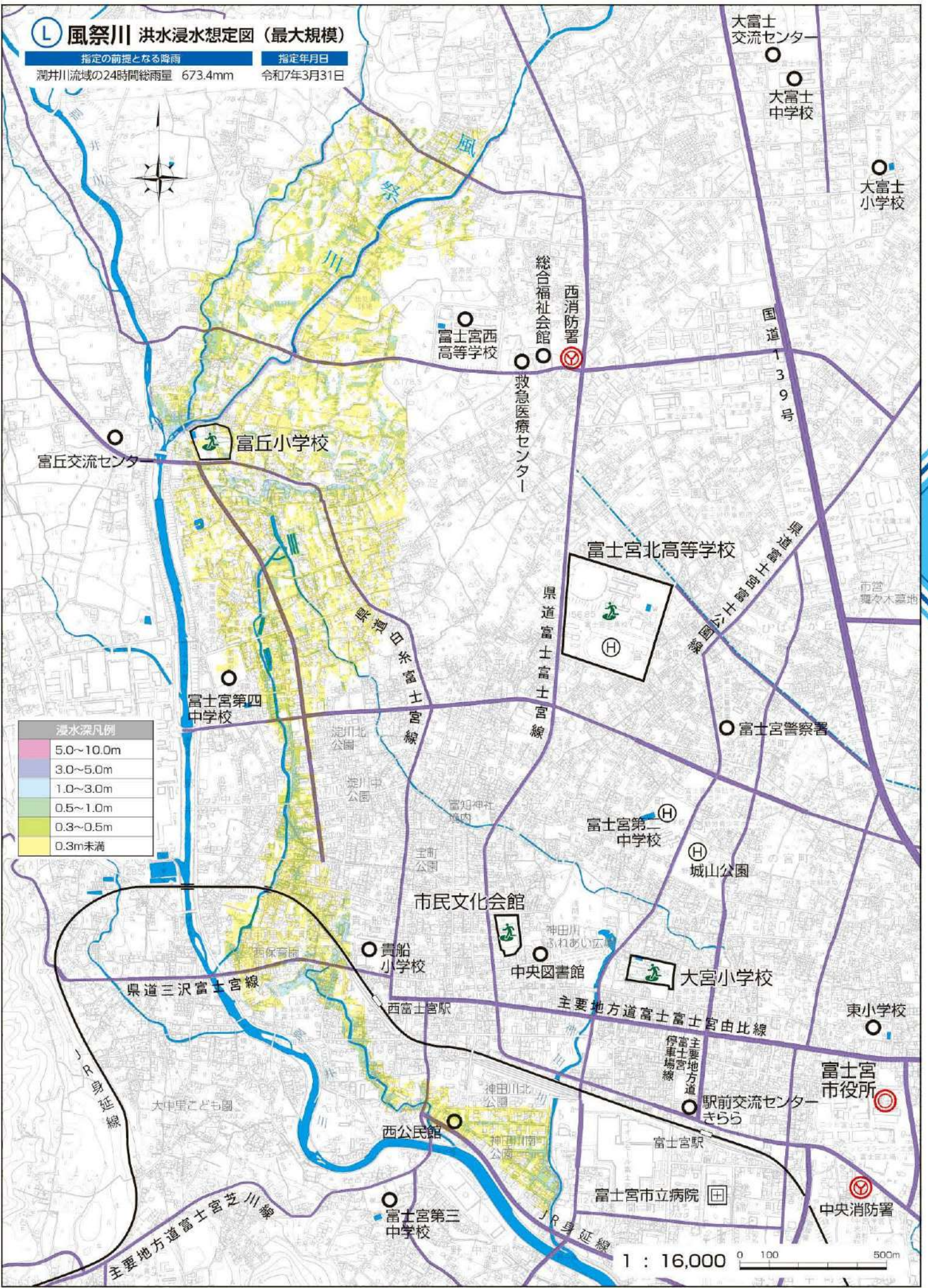
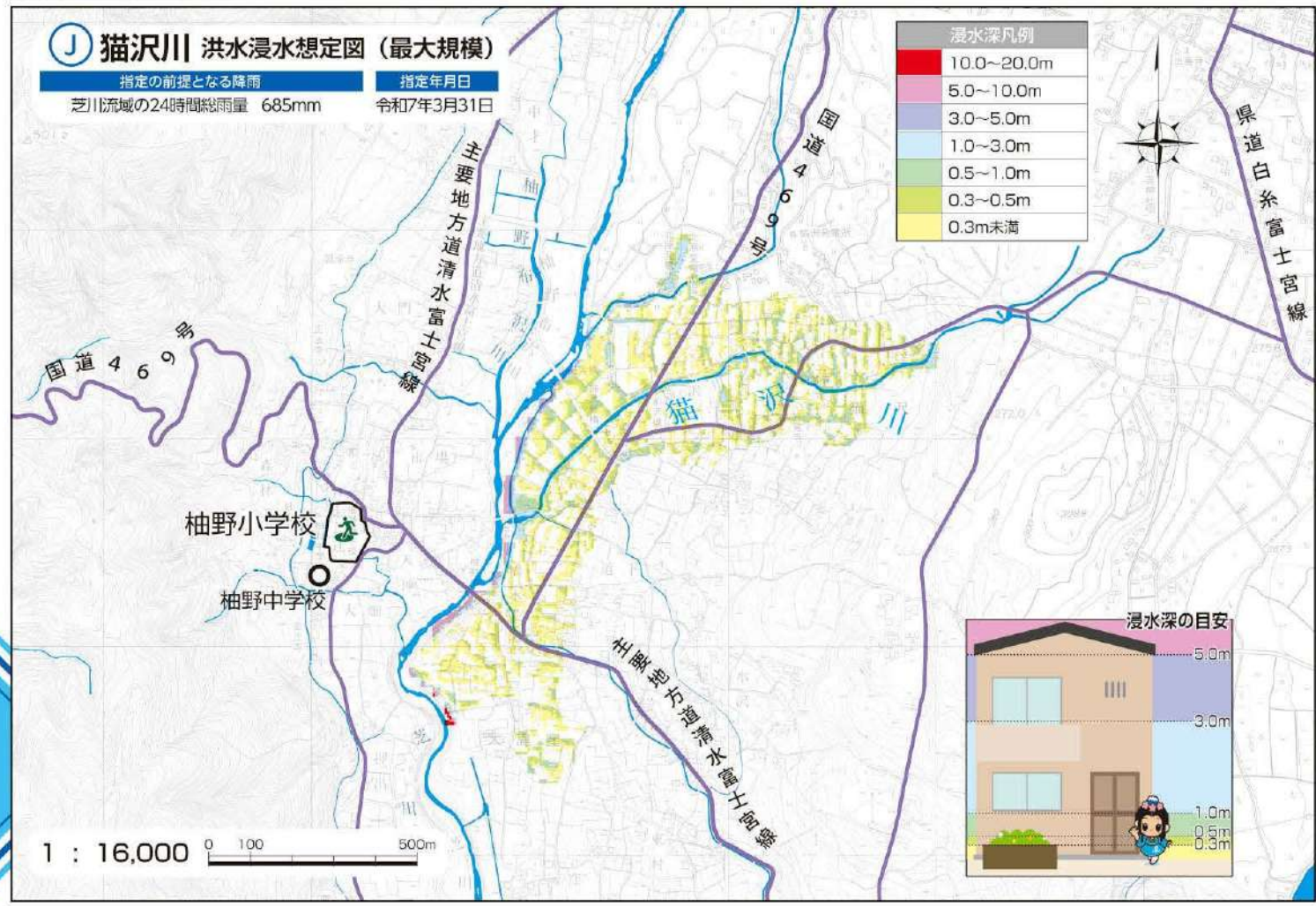
洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ



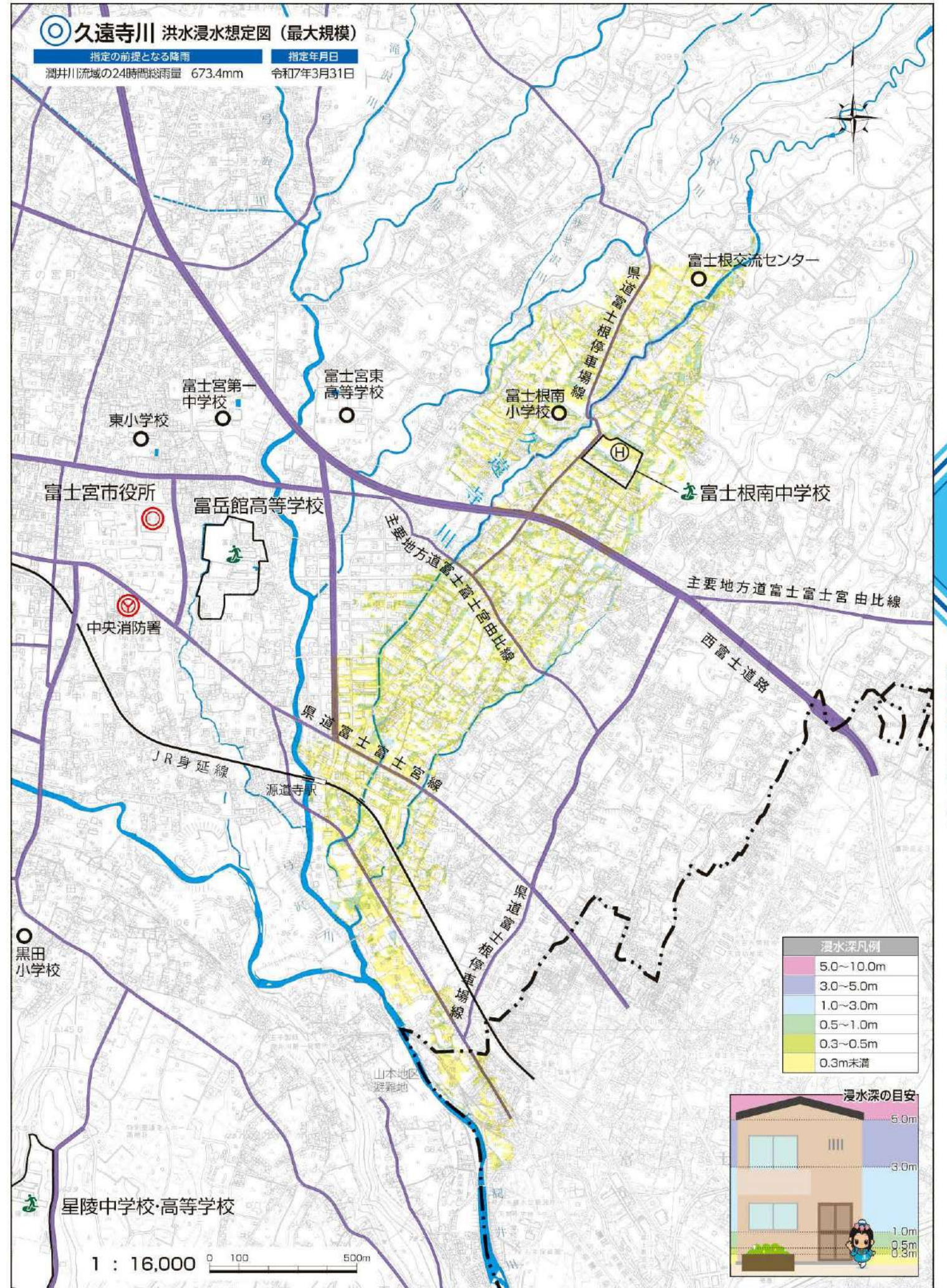
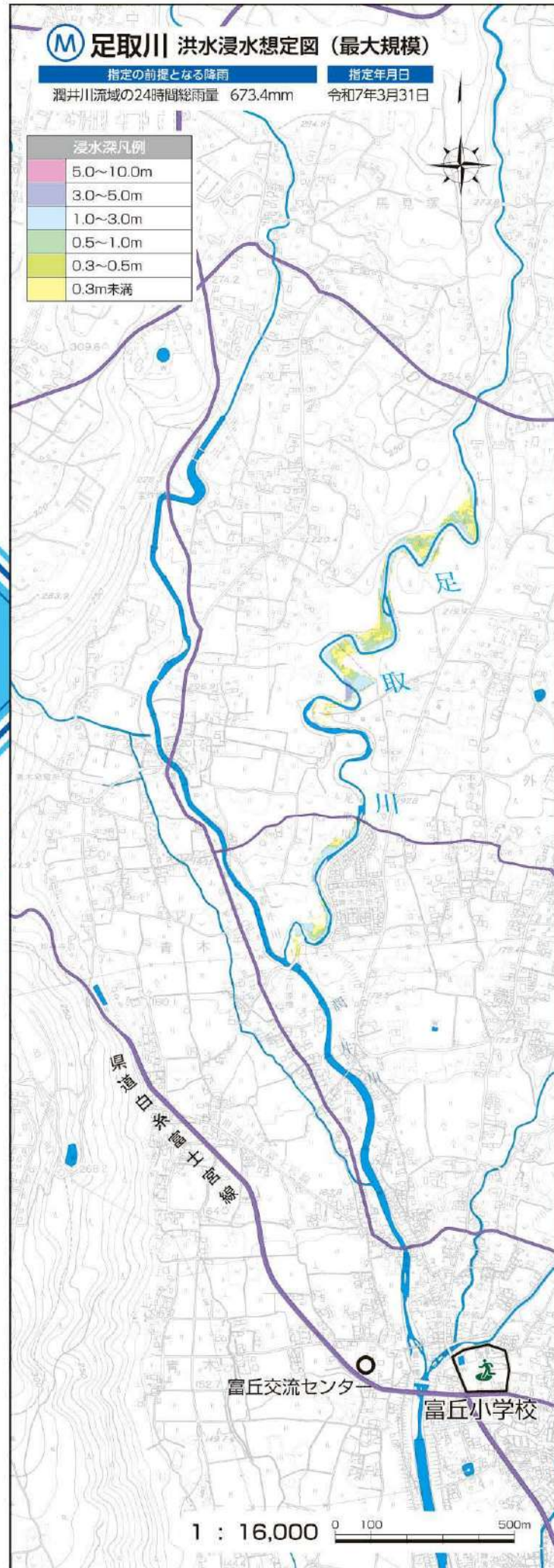
洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ



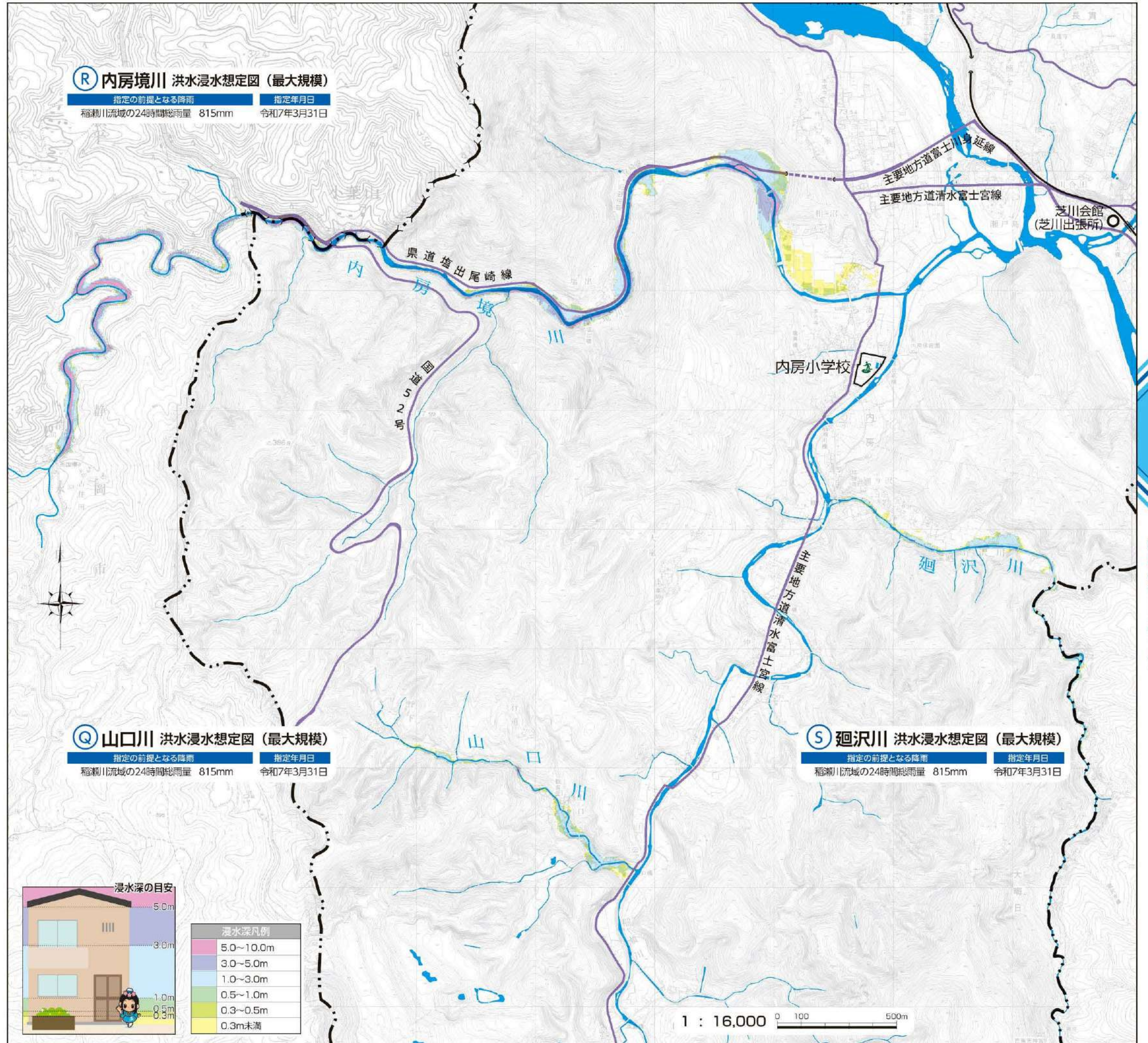
洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

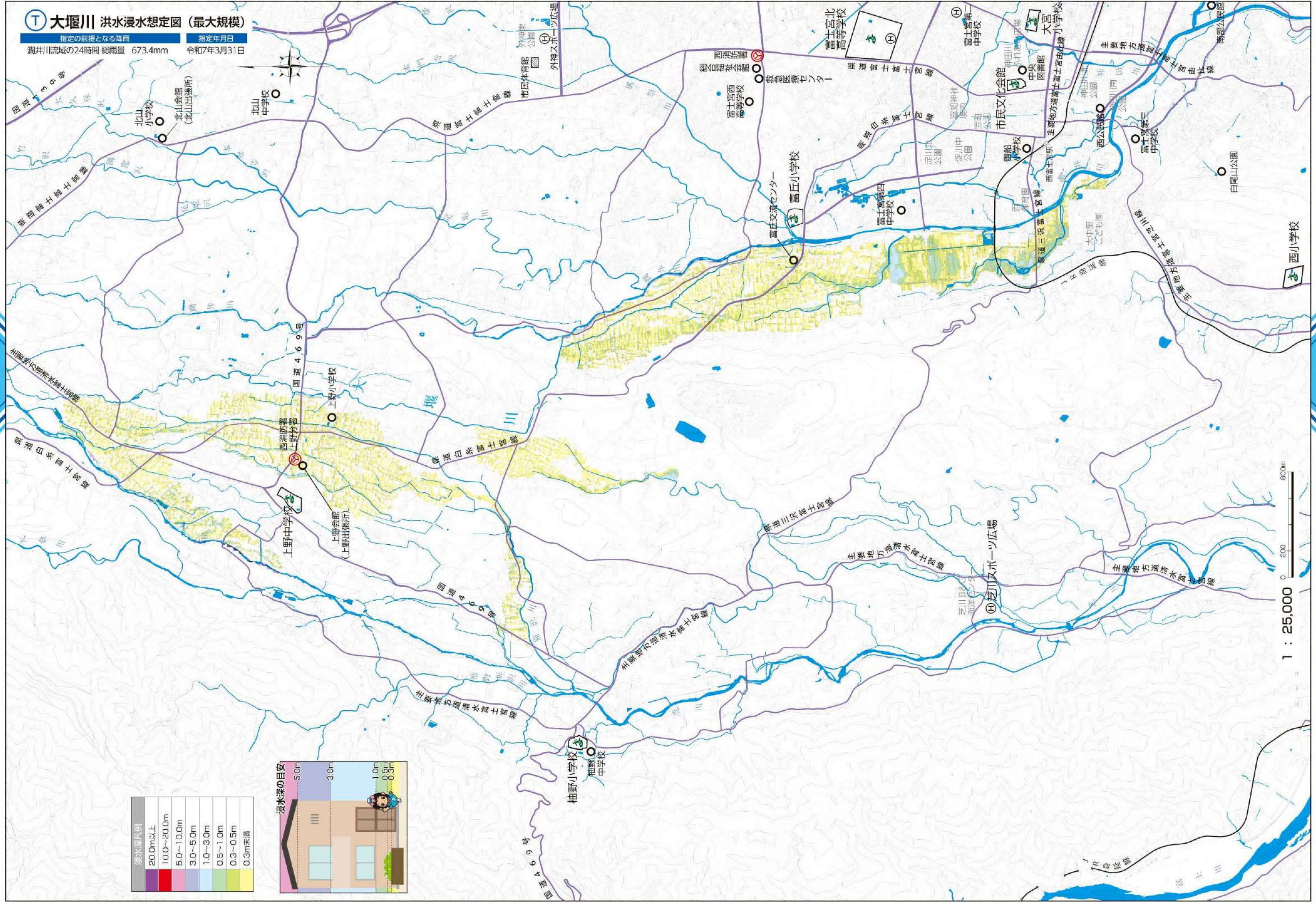


洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

T 大堰川 洪水浸水想定図 (最大規模)

指定の前提となる降雨
 濁井川流域の24時間 総雨量 673.4mm
 指定年月日
 令和7年3月31日



浸水深凡例
20.0m以上
10.0~20.0m
5.0~10.0m
3.0~5.0m
1.0~3.0m
0.5~1.0m
0.3~0.5m
0.3m未満



洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

U 稲子川 洪水浸水想定図 (最大規模)

指定の前提となる降雨
稲子川流域の降雨強度 119mm/h

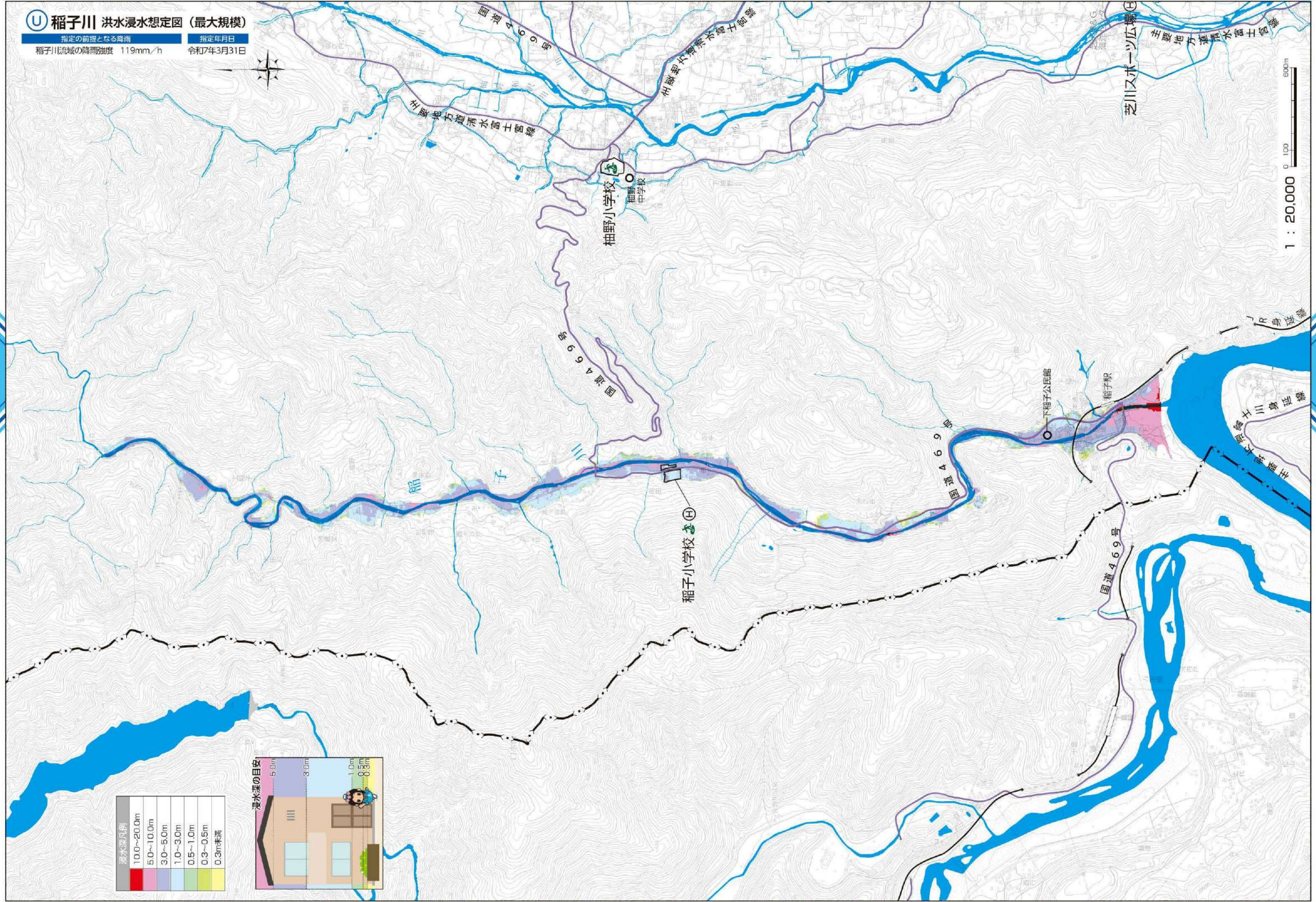
指定年月日
令和7年3月31日



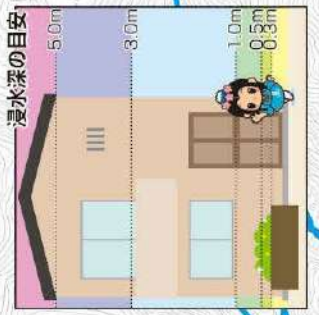
1 : 20,000
0 100 600m

洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

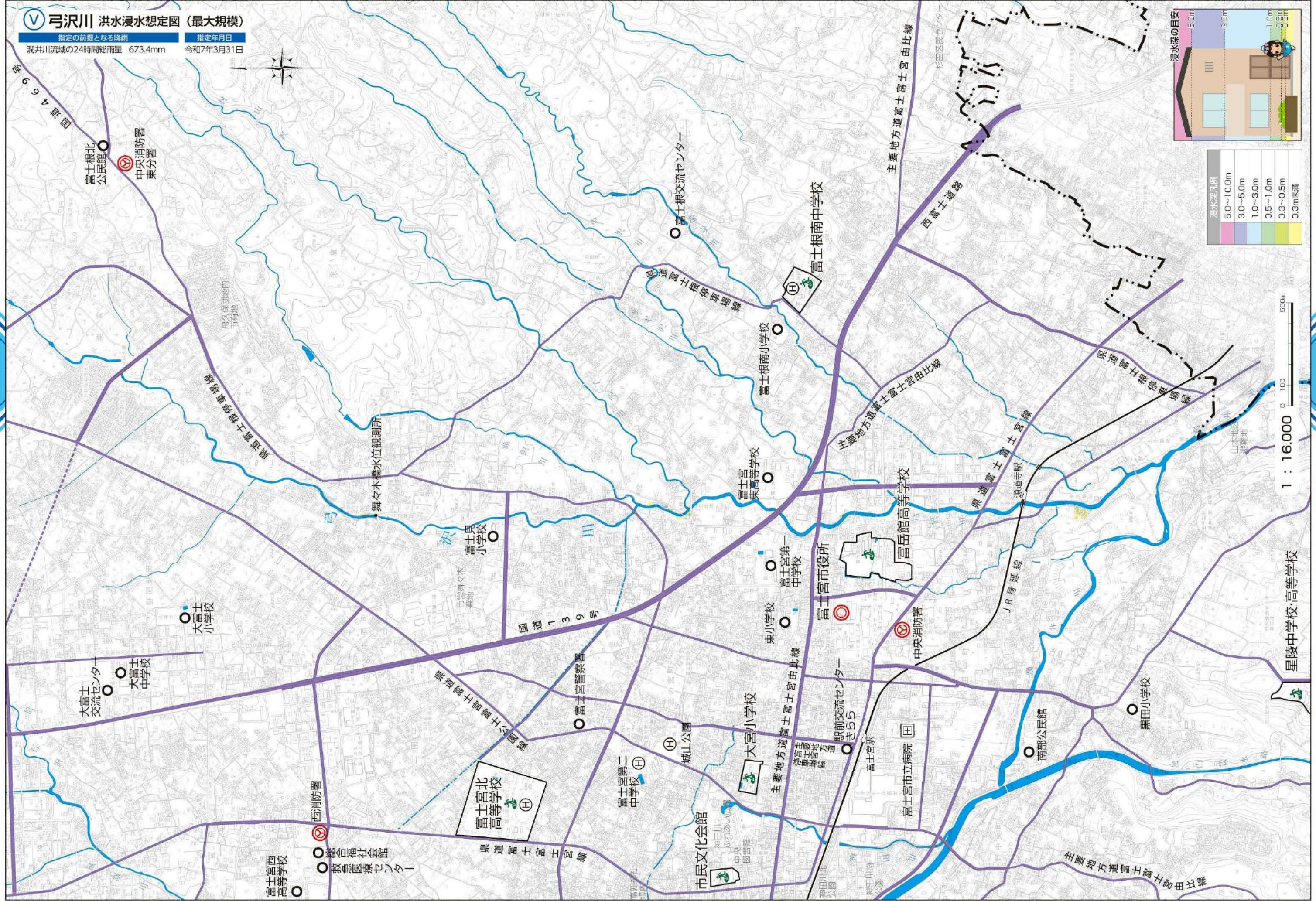


浸水深凡例
10.0~20.0m
5.0~10.0m
3.0~5.0m
1.0~3.0m
0.5~1.0m
0.3~0.5m
0.3m未満



弓沢川 洪水浸水想定図 (最大規模)

指定の前提となる降雨
観井川流域の24時間総雨量 673.4mm
指定年月日
令和7年3月31日

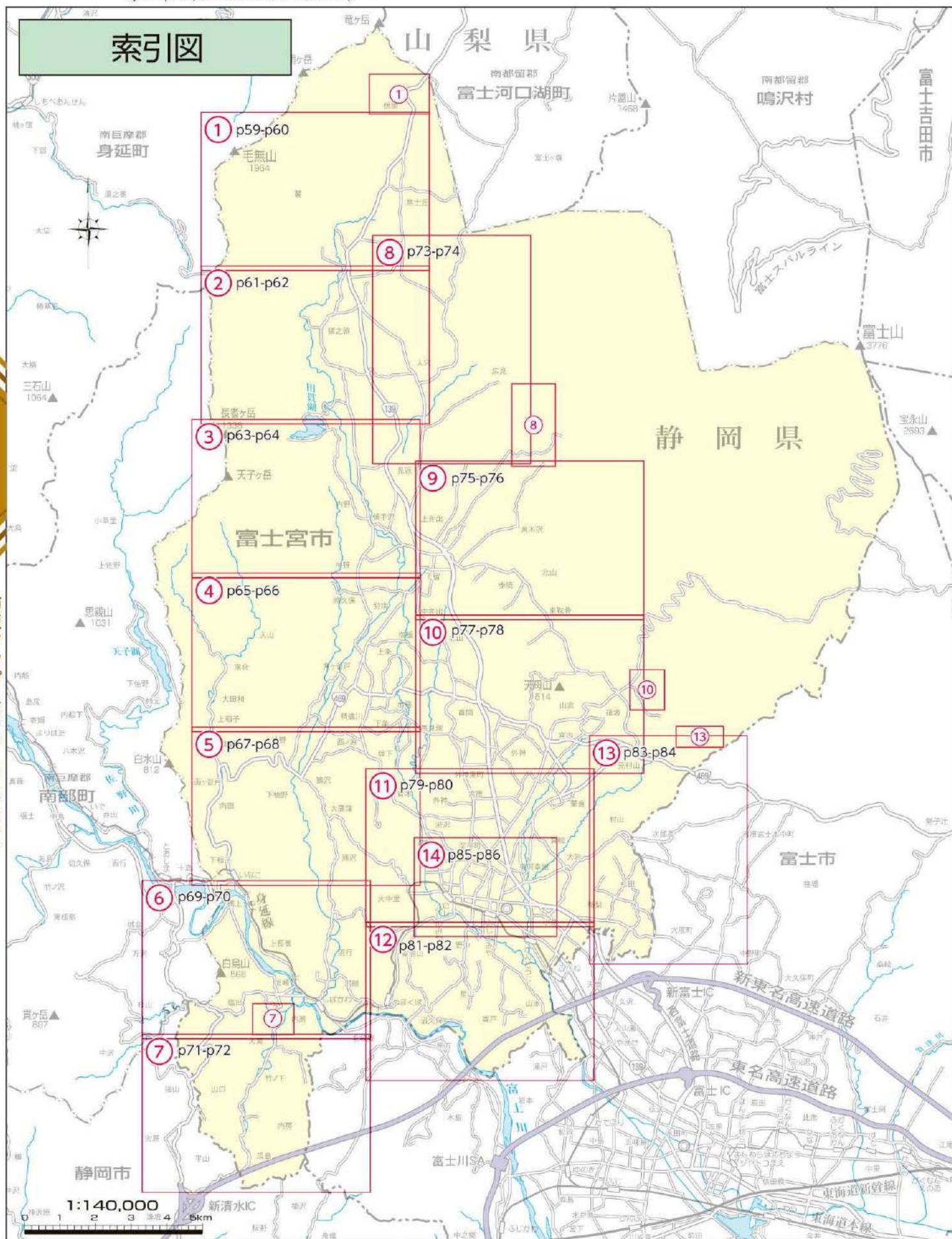


洪水深凡例
5.0~10.0m
3.0~5.0m
1.0~3.0m
0.5~1.0m
0.3~0.5m
0.3m未満

1 : 16,000 0 100 500m

防災マップ(洪水ハザードマップを除く)

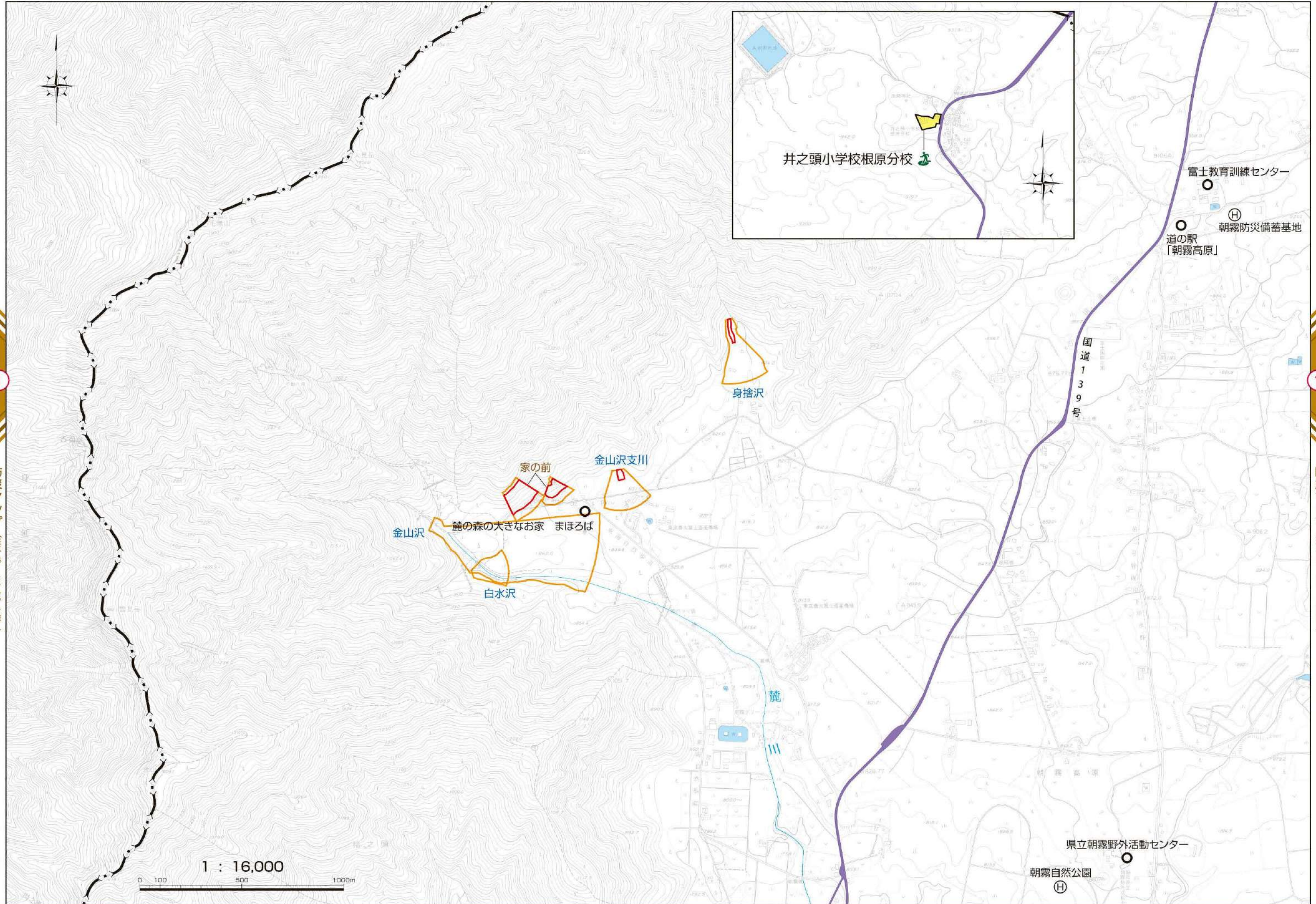
fujinomiya city sediment disaster hazard map



	凡例	Legend	Modelo
	市役所	City Hall	Prefeitura
	消防署	Fire Station	Quartel dos Bombeiros
	防災用ヘリポート	Disaster prevention heliport	Local Pouso e Decolagem dos Helicópteros
	指定避難所	Evacuation site	Local de Refúgio Estipulado pela cidade
	指定緊急避難場所(洪水除く)	Emergency Evacuation Appointed Site	Locais de refugio em caso de emergência
	緊急物資集積所	Emergency supplies storage point	Depósito de Suplementos de Emergência
	緊急輸送路	Emergency transport route	Rota de Emergência
	災害拠点病院	Disaster Center Hospital	Hospital base em caso de terremotos
	救護病院・仮設救護病院	First-aid hospital・Temporarily First-aid Hospital	Pronto Socorro・Hospital de Emergência Temporária
	救護所	First-aid station	Posto de Primeiros Socorros
	主要河川	Principal River	Principais rios
	他県との境界線 他市との境界線	Border Line between Other Municipalities	Fronteira com outra cidade
	鉄道	Railway	Ferrovia
	新東名高速道路	Shin tomei Expressway	Expresso Shin Tomei
	土砂災害特別警戒区域	Debris slide and landslip special prevention zone	Zona com precaução especial de calamidade de terra e area
	土砂災害警戒区域	Debris slide and landslip prevention zone	Zona com precaução de calamidade de terra e area

防災マップ(洪水ハザードマップを除く)

防災マップ(洪水ハザードマップを除く)

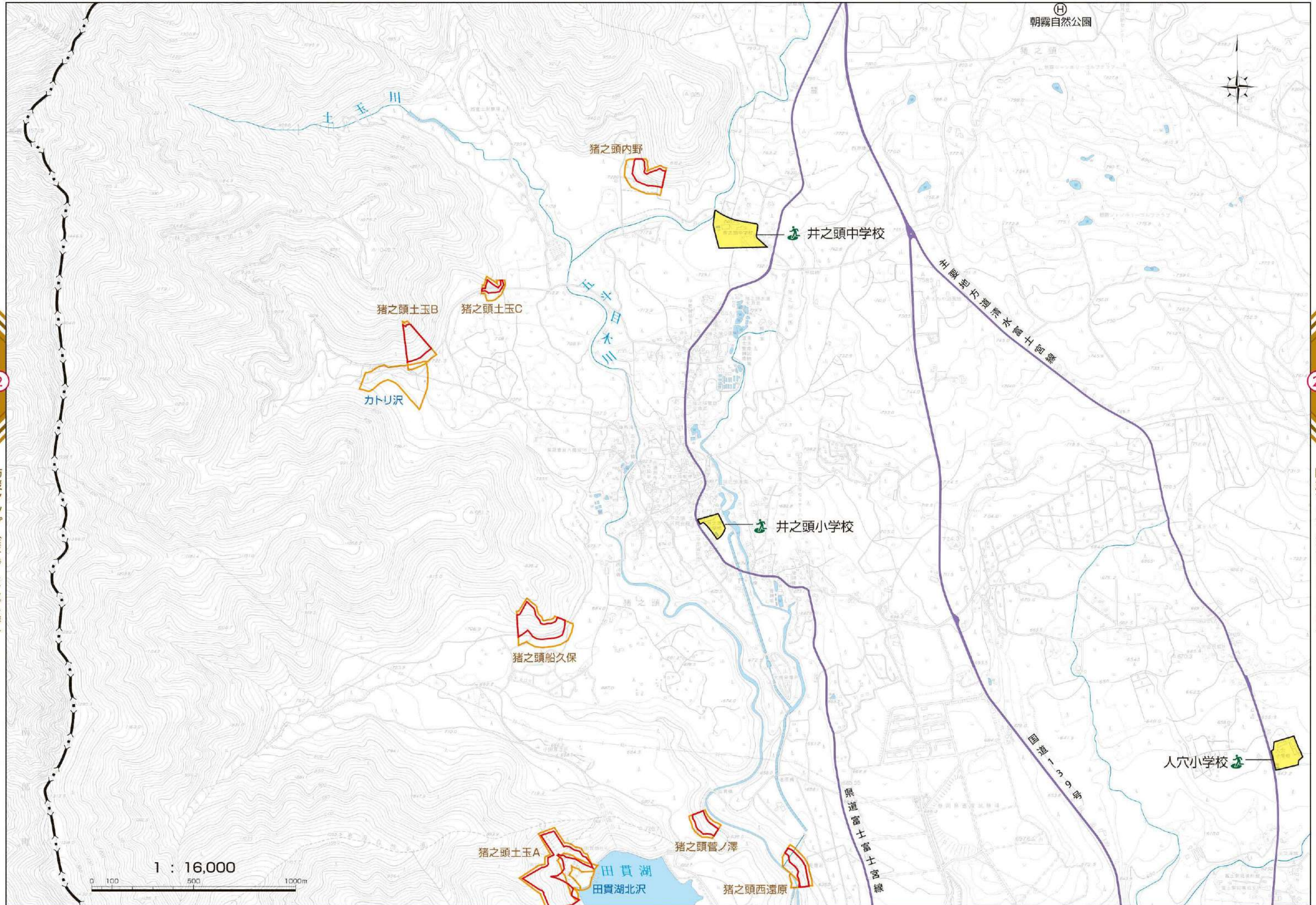


1

1

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

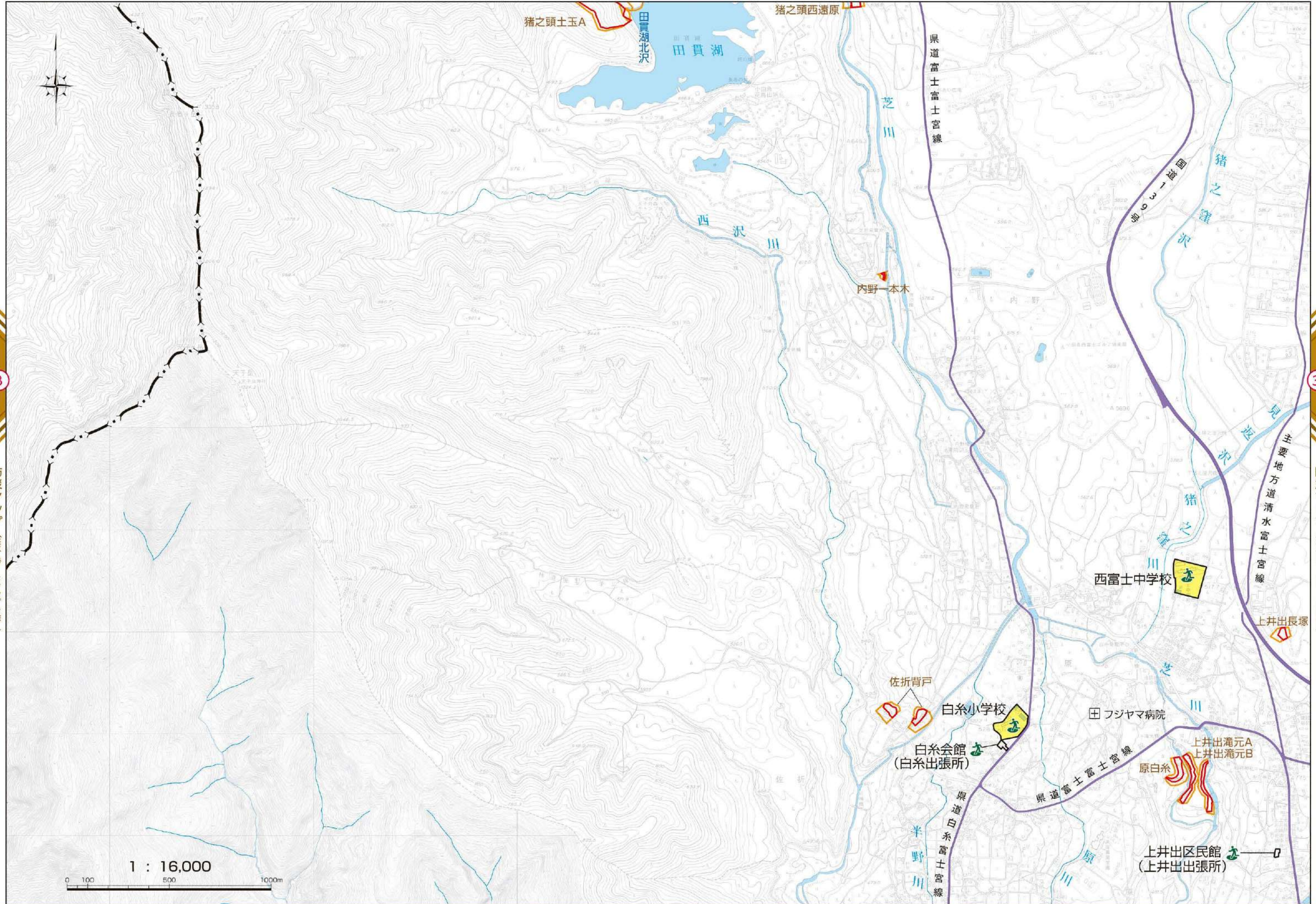


2

2

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

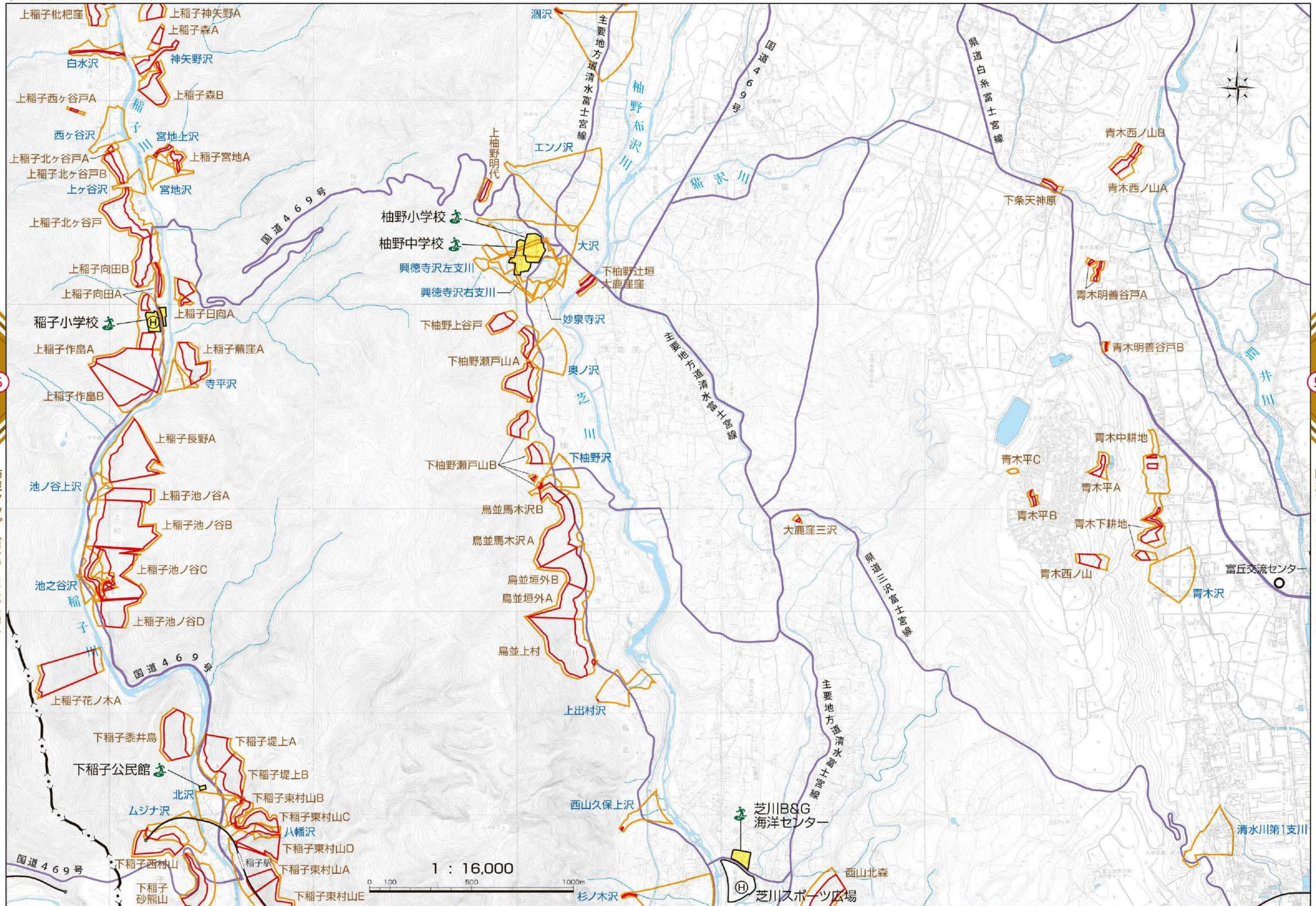


3

3

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

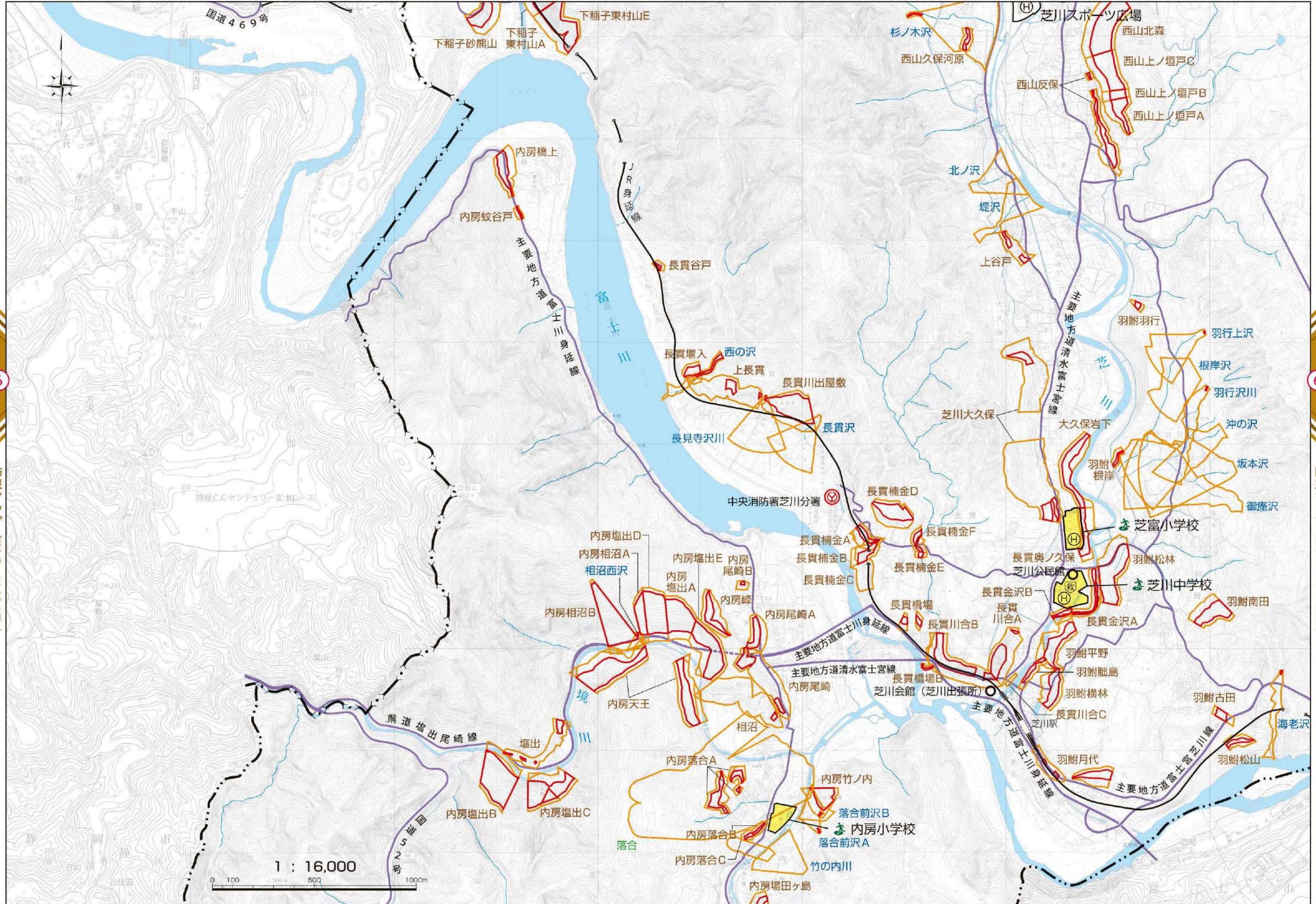


5

5

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

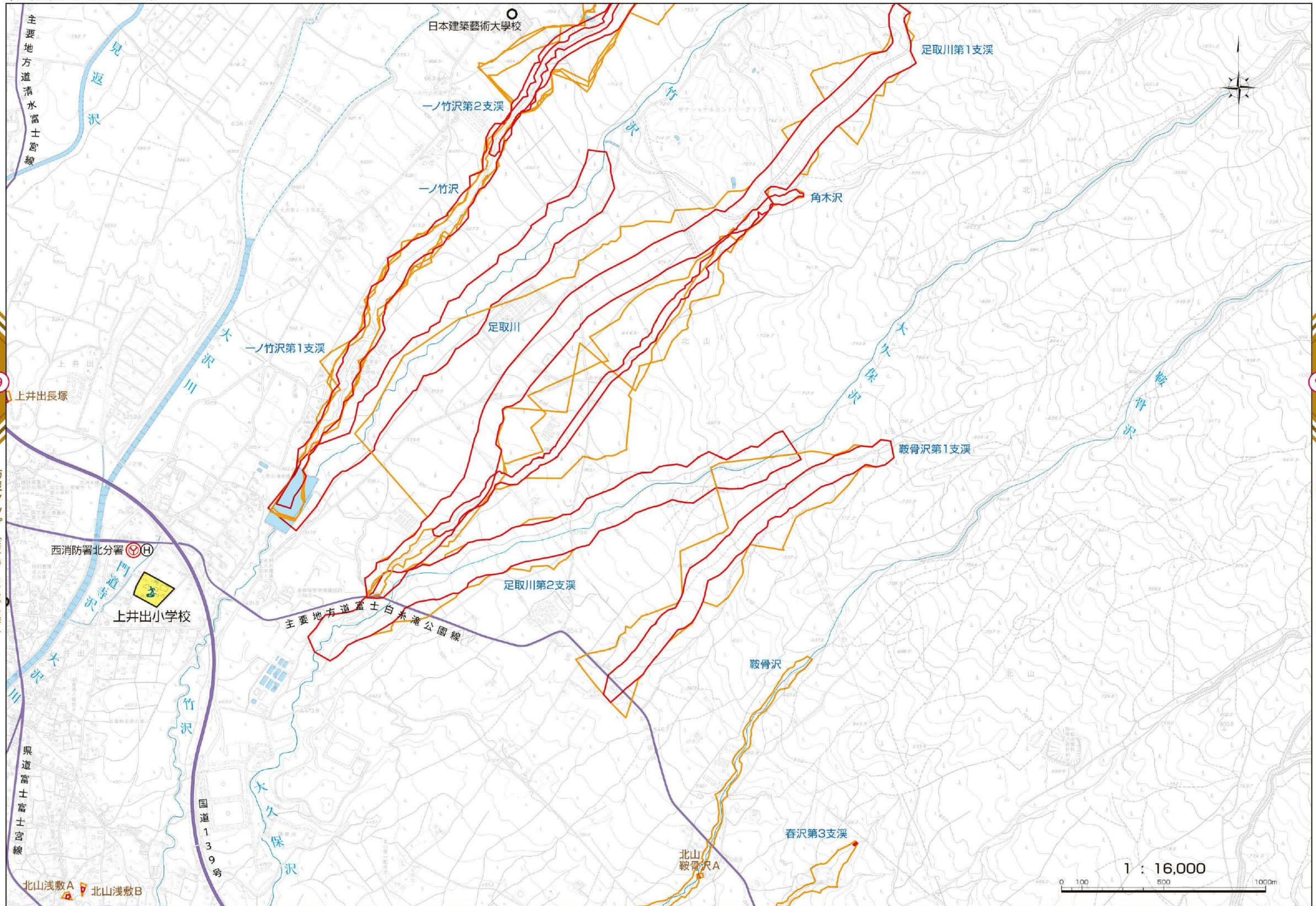


6

6

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

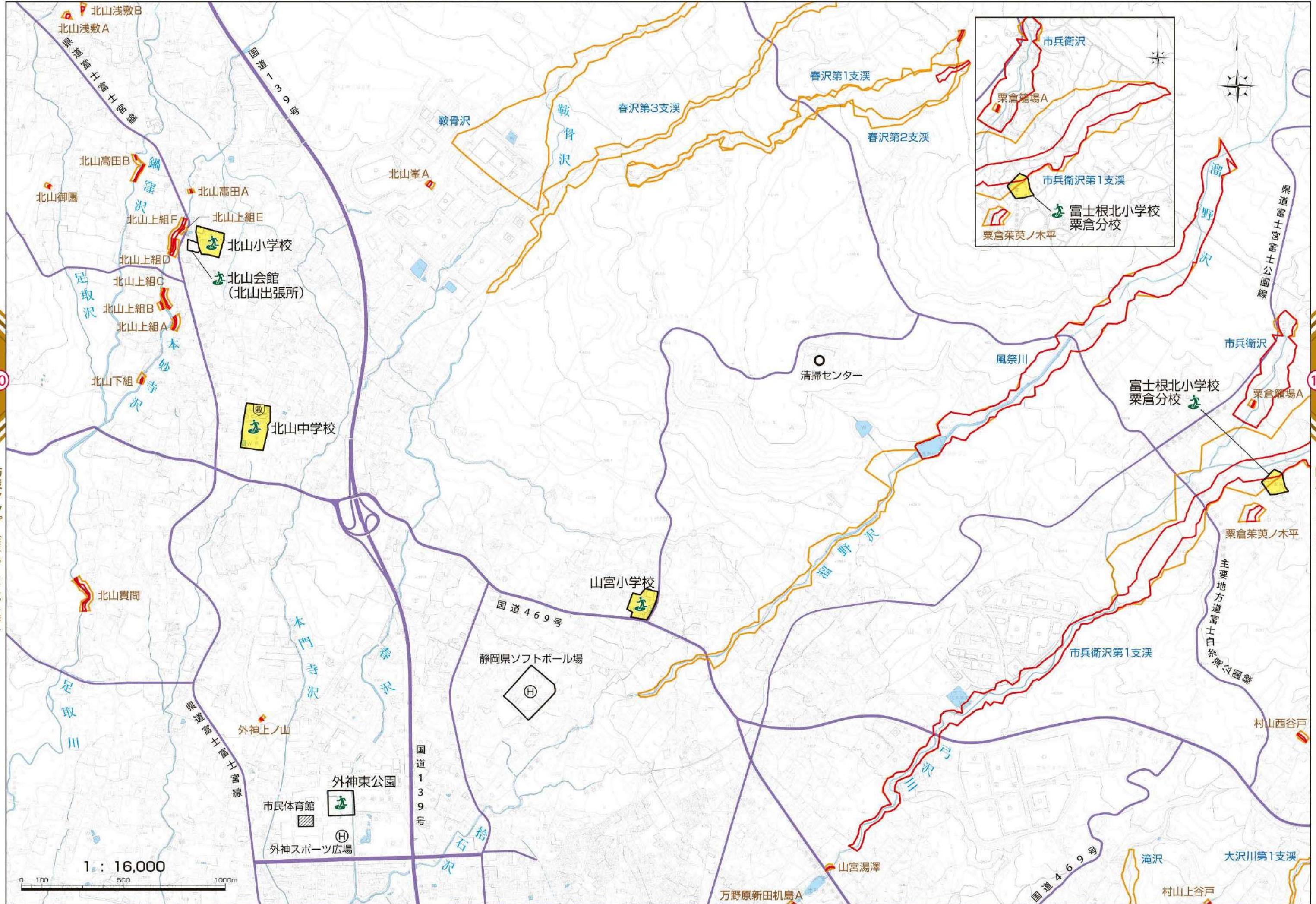


9

9

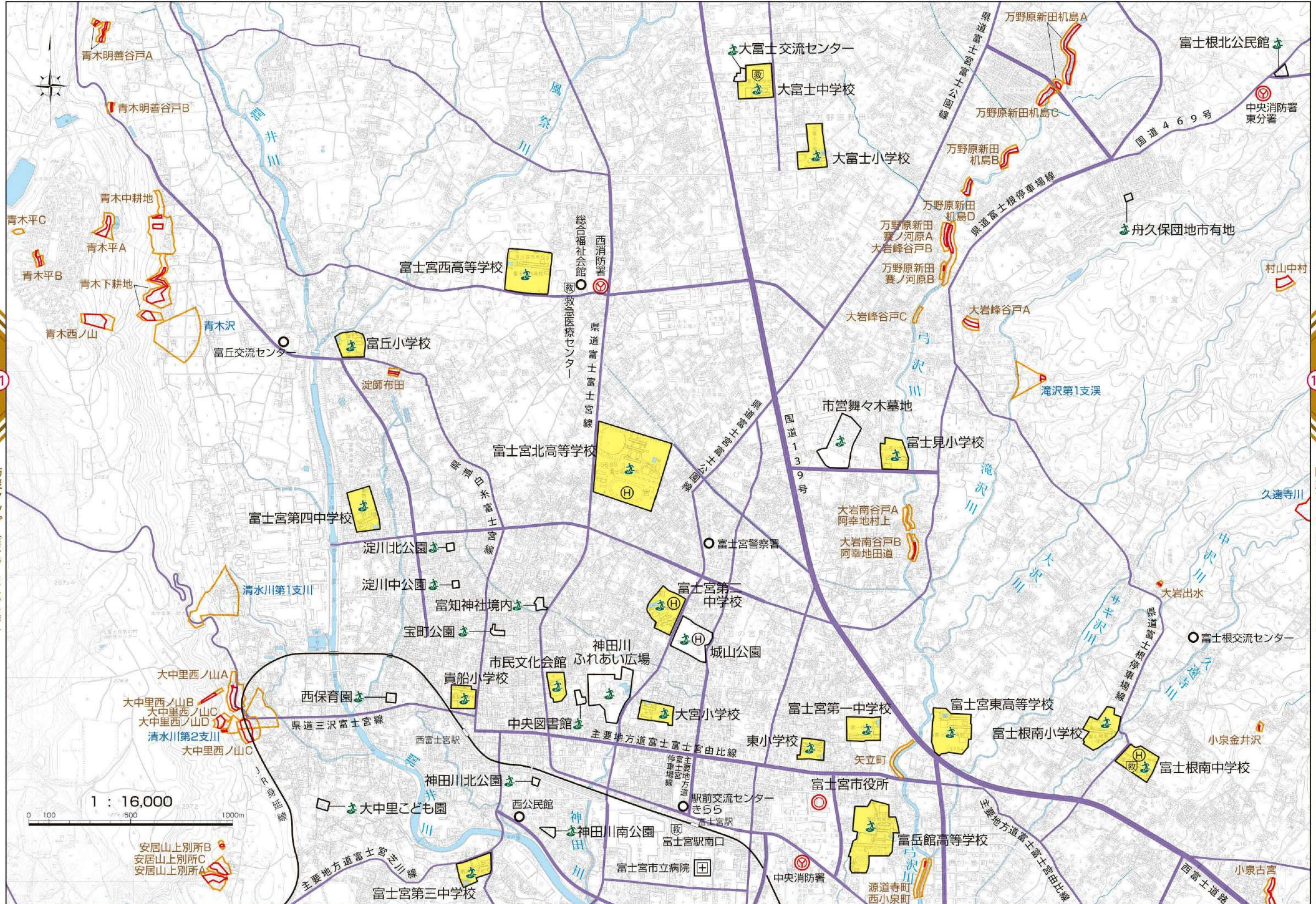
防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)



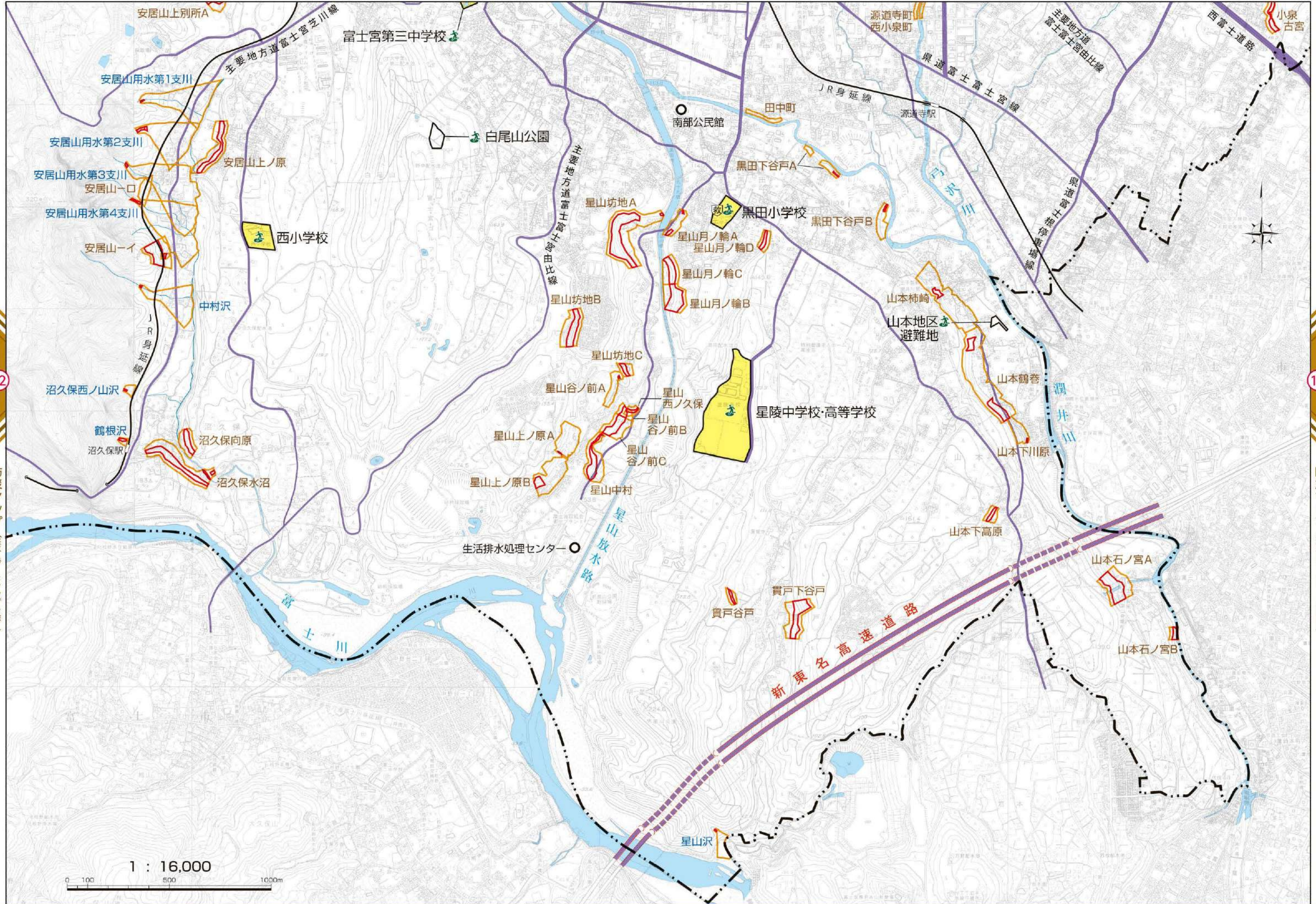
防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)



防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

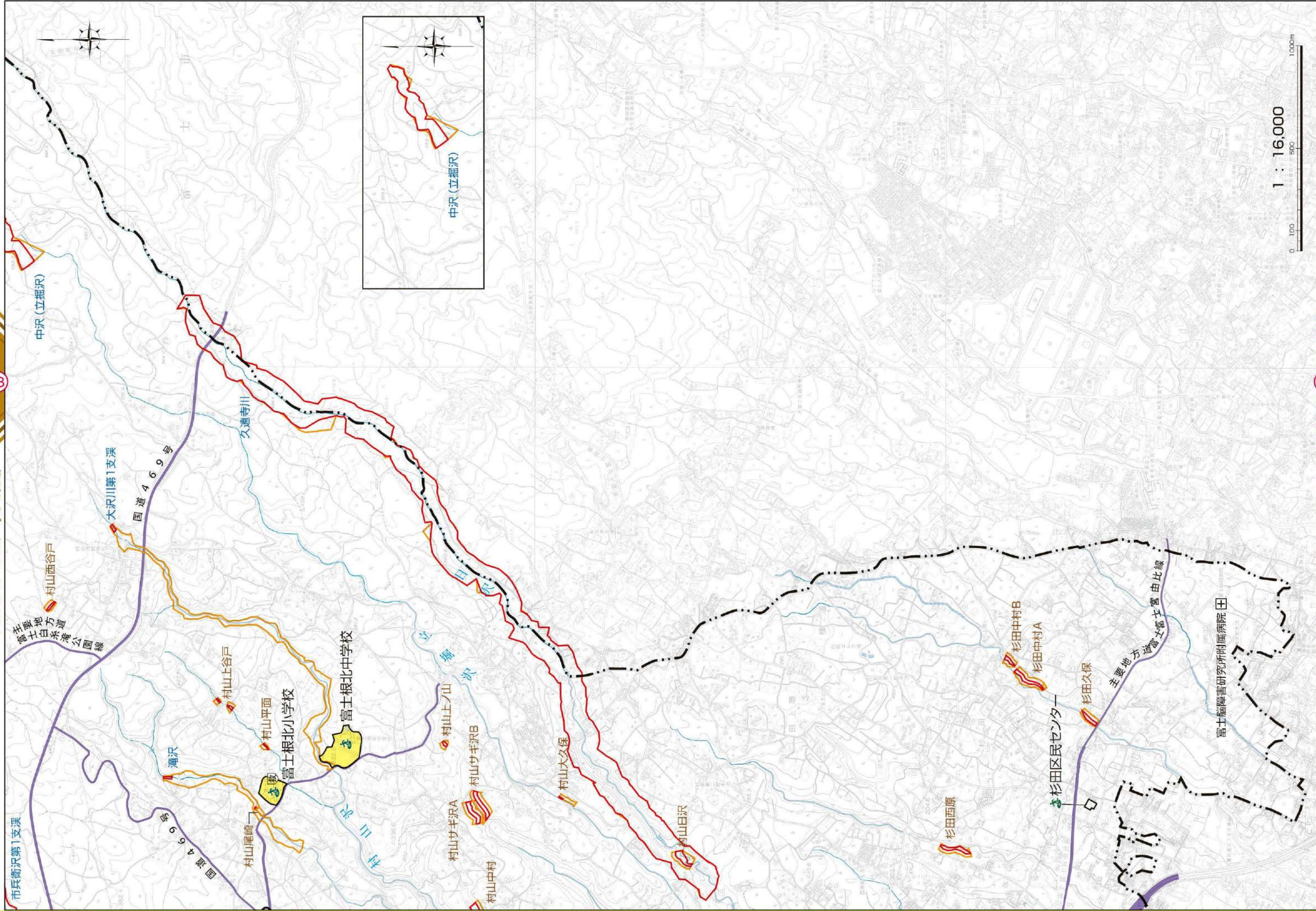


12

12

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

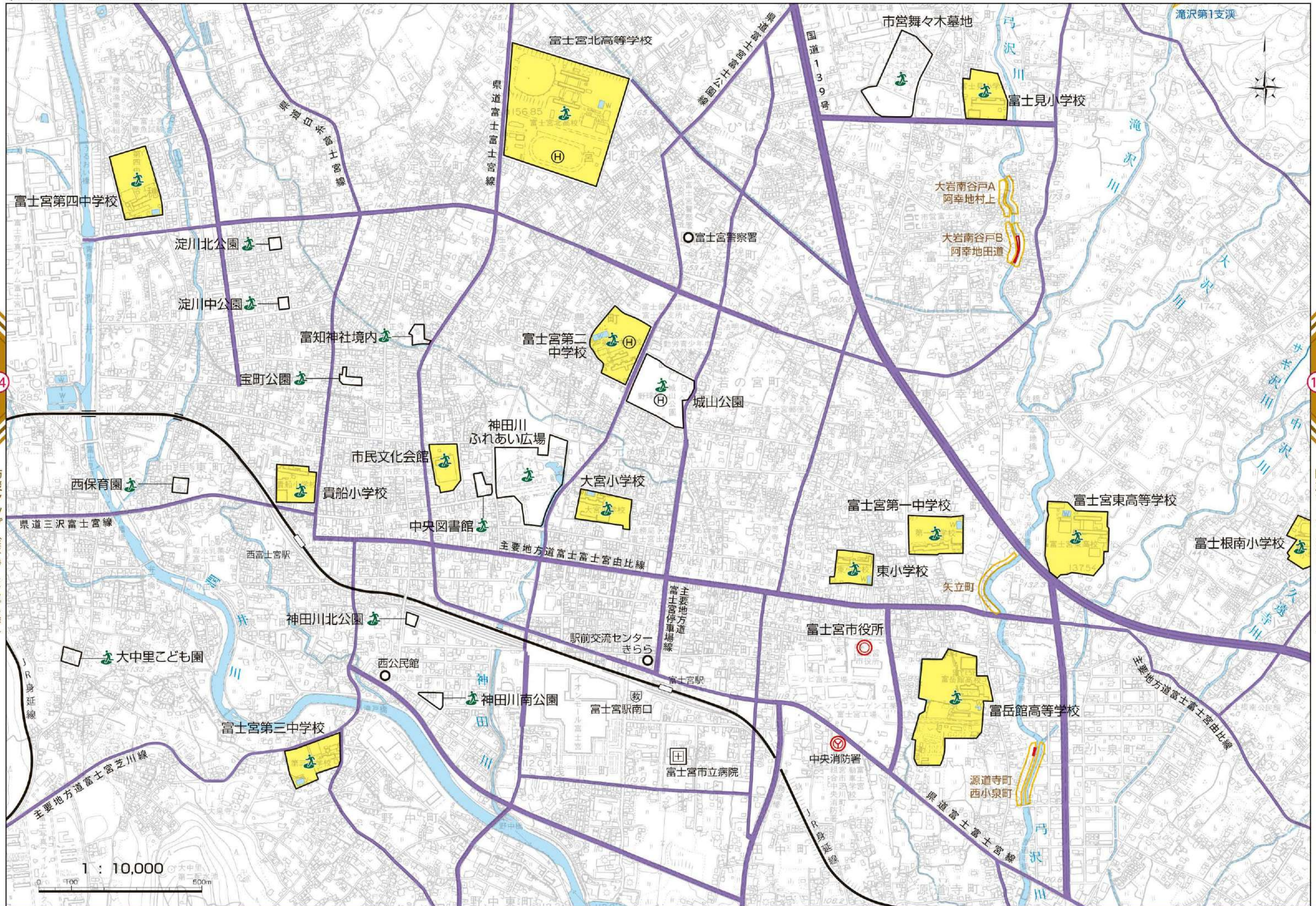


1 : 16,000



防災マップ (洪水ハザードマップを除く)

防災マップ (洪水ハザードマップを除く)



14

14

防災マップ 洪水ハザードマップを除く

防災マップ 洪水ハザードマップを除く

1 : 10,000